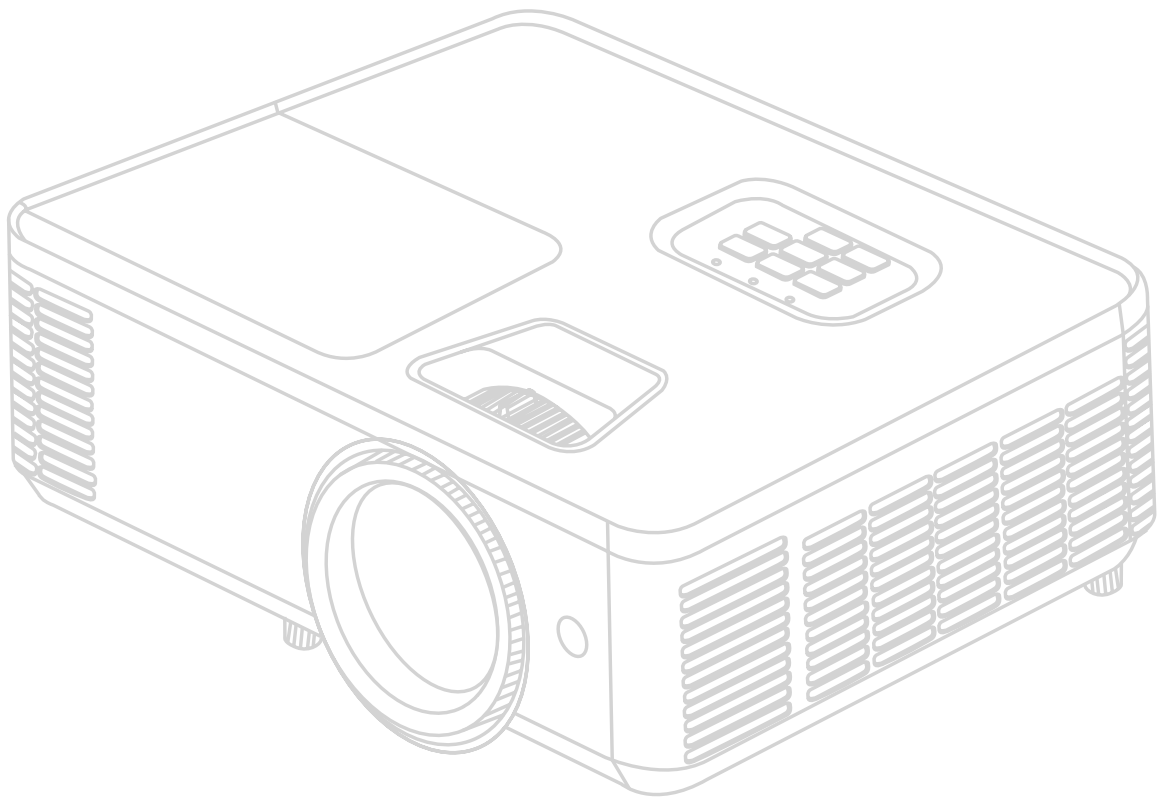


# PX704HD

## プロジェクター ユーザーガイド



製品番号 VS19746  
型番：PX704HD

**ViewSonic® 製品をお買い上げいただき  
ありがとうございます。**

# 安全のためのご注意

本機をご使用になる前に、次の**安全のためのご注意**をお読みください。

- 本書は必要なときにいつでも参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。
- 注意や警告はすべてお読みになり、その指示に従ってください。
- 適切な通気のために、本機の周囲は最低 20" (50 cm) のスペースを保ってください。
- 本機は通気のよい場所に設置してください。熱がこもるため、本機の上に物を載せないでください。
- 本機は平坦な安定した場所に設置してください。本機が落下すると、ケガや故障の原因となります。
- 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15° を超える状態では使用しないでください。
- 動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。強い光線なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 本機のランプをオンにするときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。
- 本機が作動しているときに投写レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。
- ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクターの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、本機を常温に戻してください。
- ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。
- ランプ部や電子部品の交換は、必ず本機の電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。
- 本機を動かす時には、落としたりぶつけたりしないでください。
- 本機や接続ケーブルの上に重い物を載せないでください。
- 装置を縦向きにしないでください。縦向きにするとプロジェクターが倒れ、けがをしたり故障したりする恐れがあります。
- 本機を直射日光や熱源の熱にさらさないでください。ラジエーターやヒーター、ストーブ、その他の熱源（アンプなど）の近くに本機を設置すると、本機が高温になり危険です。
- 本機の上または近くに液体を置かないでください。本機の内部に液体がこぼれると故障の原因になります。本機が濡れてしまった場合は、コンセントからプラグを抜いて、ViewSonic® カスタマーサポートセンターに修理を依頼してください。

- 本機が作動しているときには、通気孔から熱風と臭気を感じる場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥によるものではありません。
- 有極プラグやアースプラグの安全対策は外さないでください。有極プラグには2つのブレードがあり、1つはもう片方よりも幅広になっています。アースタイプのプラグには2つのブレード、接地用突起が1つあります。幅広のブレードと3つ目の突起は安全対策用です。プラグがコンセントに合わない場合は、無理にプラグをコンセントに差し込もうとしないでください。
- コンセントに差し込むときに、接地用突起を切除しないでください。接地用突起は絶対に外さないでください。
- 電源コードは特にプラグ部分を踏みつけたり、強く挟んだりしないでください。
- 国によっては、電源電圧が不安定な場合もあります。本機は電源がAC100～240Vの電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や±10Vのサージが発生すると故障する可能性があります。電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置(UPS)にプロジェクターを接続することをお勧めします。
- 煙、異常音、異臭が認められる場合は、直ちに本機の電源を切り販売店またはViewSonic®カスタマーサポートセンターにお問合せください。本機を使い続けることは危険です。
- 付属品/アクセサリは、メーカーが指定するものだけをご使用ください。
- 長時間本機を使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 点検修理については、ViewSonic®カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。



**注意：**本機はIEC 62471-5:2015(RG2)に分類されている光源を投射します、他の明るい光源と同様に投写光を覗かないでください。



# 安全のためのご注意 - 天井取り付け

本機をご使用になる前に、次の**安全のためのご注意**をお読みください。

本機を天井に取り付ける場合は、適合する天井取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

適合しない天井取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないため本機が正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

プロジェクター天井取り付けキットは、本機を購入された販売店でお買い求めいただけます。また別途セキュリティ ケーブルをお求めになり、プロジェクターの盗難防止用ロックスロットと天井取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお勧めします。このようにしておくと、万一天井取り付けブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクターを補助的に支えることができます。

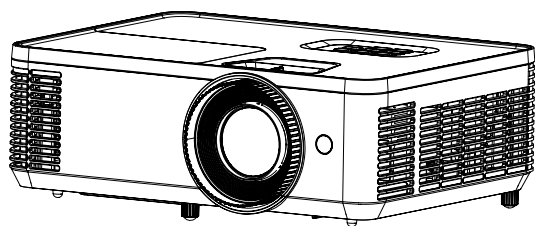
# 目次

安全のためのご注意 .....	3
安全のためのご注意 - 天井取り付け .....	5
はじめに .....	9
付属品 .....	9
各部の名称 .....	10
プロジェクター .....	10
キーパッド .....	11
インジケータライト .....	12
入出力ポート .....	13
リモコン .....	14
セットアップ .....	18
場所の選択 - 投影方向 .....	18
投影寸法 .....	19
プロジェクターの取り付け .....	21
セキュリティバーの使用 .....	21
本体の接続 .....	22
電源との接続 .....	22
外付け機器への接続 .....	23
HDMI接続 .....	23
オーディオ接続 .....	24
USBタイプA接続 .....	25
RS-232接続 .....	26
プロジェクターの使用方法 .....	27
プロジェクターを起動する .....	27
入力ソースを選択する .....	28
Help Menu（ヘルプメニュー） .....	29
投影画像を調整する .....	32
プロジェクターの高さと投影角度を調整する .....	32
フォーカス、キーストーン、ズームの調整 .....	33
プロジェクターをシャットダウンする .....	34

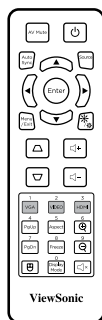
<b>プロジェクターを操作する</b>	<b>35</b>
<b>オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー</b>	<b>35</b>
メニューナビゲーション	36
メインメニュー構成	37
メニュー操作	43
Image Menu（画像メニュー）	43
Display Menu（ディスプレイメニュー）	45
Setup Menu（セットアップメニュー）	48
Options Menu（オプションメニュー）	50
<b>付録</b>	<b>53</b>
仕様	53
プロジェクターの寸法	54
タイミングチャート	55
HDMI 3D	56
トラブルシューティング	57
LEDインジケーター	59
メンテナンス	60
お手入れの際の注意	60
レンズを清掃する	60
ケースのお手入れ	60
プロジェクターを保管する	60
<b>規制および保証情報</b>	<b>61</b>
コンプライアンス情報	61
FCC 準拠宣言	61
カナダ産業省の声明	61
ヨーロッパ諸国における CE 準拠	61
RoHS2 準拠宣言	62
インドの有害物質に関する制限	63
廃棄処分について	63
著作権情報	64
カスタマーサポート	65

# はじめに

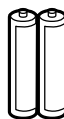
## 付属品



①



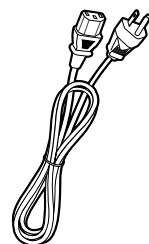
②



③



④

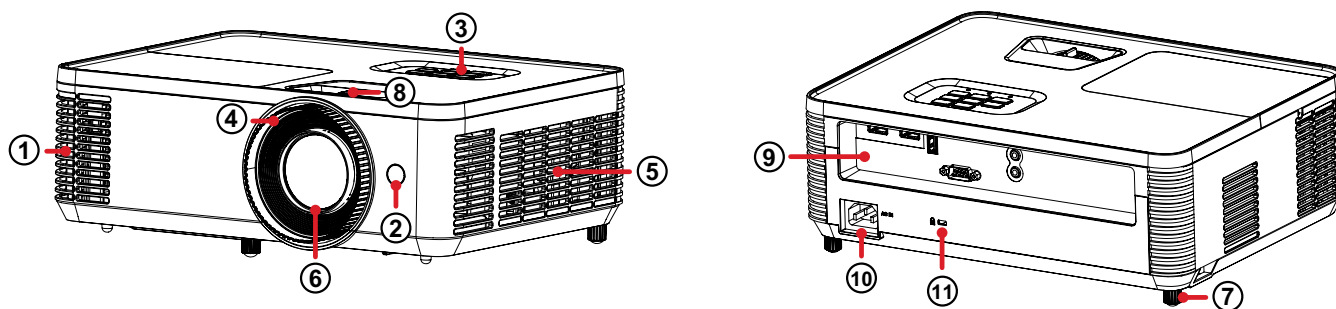


⑤

数	詳細
1	プロジェクター
2	リモコン
3	電池
4	クイックスタートガイド
5	電源コード

**注記：** 同梱されている電源コードとリモコンは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。  
 詳細については、ViewSonic® カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

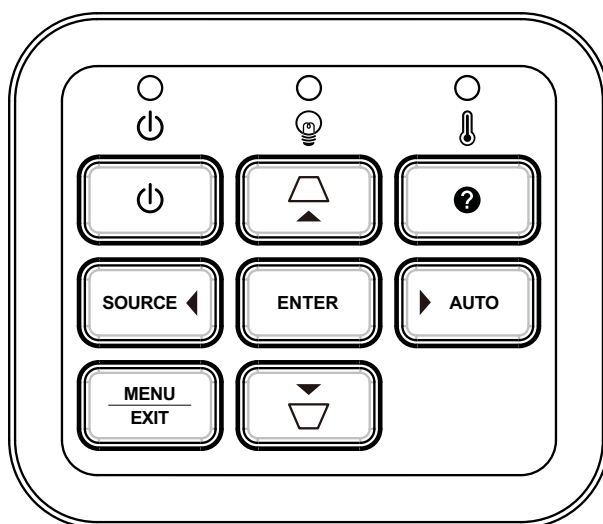
## 各部の名称 プロジェクター



数	詳細
1	通気口 (排気)
2	IRレシーバー
3	キーパッド
4	フォーカスリング
5	通気口 (吸気)
6	投影レンズ
7	アジャスターフット
8	ズームリング
9	入出力ポート
10	AC入力
11	セキュリティロック

**注記：** プロジェクターの通気口 (吸気) および通気口 (吸気) を塞がないでください。

## キーパッド



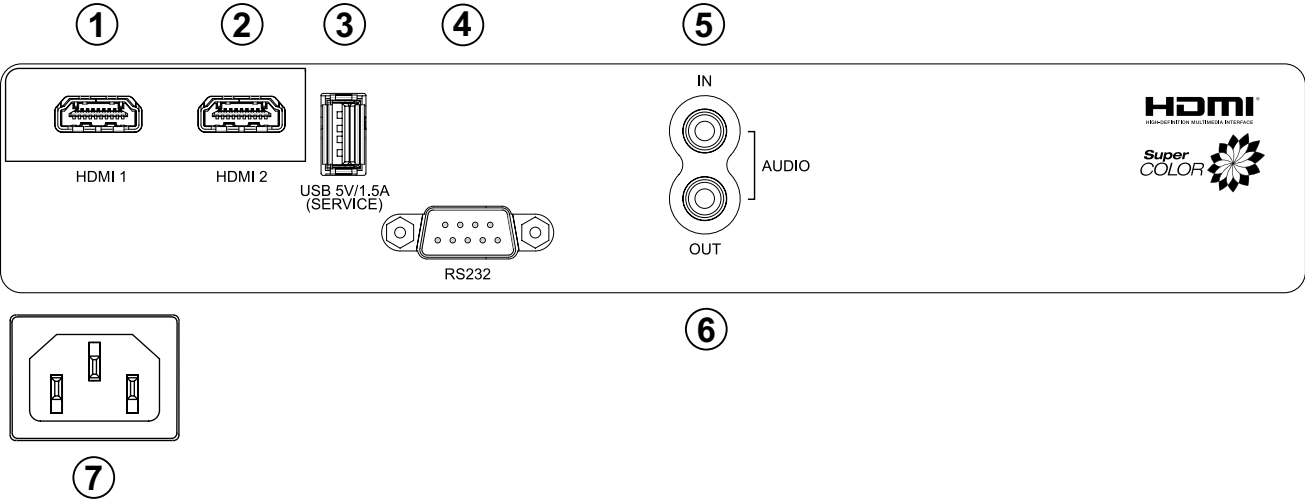
ボタン		詳細
⏻	電源	プロジェクターをスタンバイモードと電源オンに間で切り替えます。
⏏	キーストーン	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが有効になっているときに、投影の角度から生じる画像の歪みを手動で修正します。
⏏	ナビゲーション	目的のメニュー項目を選択し、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューがアクティブになったときに調整を行います。
MENU EXIT	メニュー/終了	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを有効にします。</li> <li>OSDメニューの前のレベルに戻ります。</li> <li>メニュー設定を終了して保存します。</li> </ul>
SOURCE	Source (ソース)	次の入力ソースに切り替えます。
?	Help (ヘルプ)	Help (ヘルプ) メニューを表示します。
ENTER	Enter (入力)	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが有効になったら、選択を確定します。
AUTO	Auto (自動)	プロジェクターを入力ソースに自動的に同期します。

## インジケータライト

インジケータ ライト	詳細
	電源インジケータライト
	光源インジケータライト
	温度インジケータライト

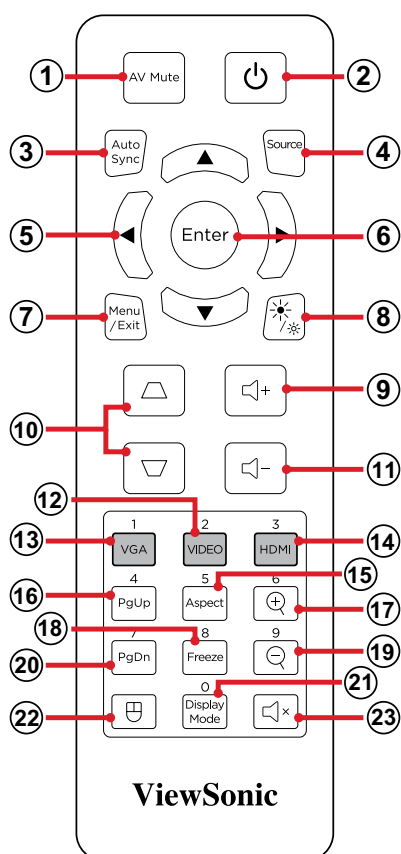


# 入出力ポート




ポート		詳細
1	HDMI 1	HDMIポート。
2	HDMI 2	HDMIポート。
3	USB (5V/1.5A出力) (サービス)	電源とサービスのためのUSBタイプAポート。
4	RS-232	RS-232制御ポート。
5	音声入力	音声信号入力ソケット
6	音声出力	音声信号出力ソケット。
7	AC入力	AC入力ソケット。

# リモコン



ボタン			詳細
1	AVミュート		画面画像の非表示/表示を切り替え、音量をミュートします。
2	電源		プロジェクターをオンまたはオフにします
3	自動同期		プロジェクターを入力ソースに自動的に同期します。
4	ソース		次の入力ソースに切り替えます。
5	ナビゲーションボタン		オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが有効になっているときに、目的のメニュー項目に移動して選択し、調整を行います。
6	入力		オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが有効になったら、選択を確定します。
7	メニュー/終了		<ul style="list-style-type: none"> <li>• オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューをオンまたはオフにします。</li> <li>• 前のOSDメニューに戻ります。</li> <li>• メニュー設定を終了して保存します。</li> </ul>
8	輝度		輝度選択バーを表示します。
9	音量(上)		音量レベルを上げます

ボタン			詳細
10	キーストーン		歪んだ画像を手動で修正します。
11	音量(下)		音量レベルを下げます
12	ビデオ		サポートされていないボタン
13	VGA		サポートされていないボタン
14	HDMI		<b>HDMI 1</b> または <b>HDMI 2</b> 入力ソースを選択します。
15	アスペクト		フォーマット選択バーを表示します。
16	ページ(上)		ページ(上)コマンド(Microsoft PowerPointなど)に応答するディスプレイソフトウェアプログラム(接続されたPC上)を操作します。 <b>注記:</b> PCとプロジェクターはUSB経由で接続する必要があります。
17	ズームイン		投影される画像サイズを大きくします。
18	フリーズ		投影される画像をフリーズ/フリーズ解除します。
19	ズームアウト		投影される画像サイズを小さくします。
20	ページ(下)		ページ(下)コマンド(Microsoft PowerPointなど)に応答するディスプレイソフトウェアプログラム(接続されたPC上)を操作します。 <b>注記:</b> PCとプロジェクターはUSB経由で接続する必要があります。
21	ディスプレイモード		ディスプレイモード選択バーを表示します。
22	マウスモード		マウス能を有効/無効にします。
23	ミュート		ミュート/ミュート解除します。

## リモコンマウスモードとページ(上/下)機能を使用する

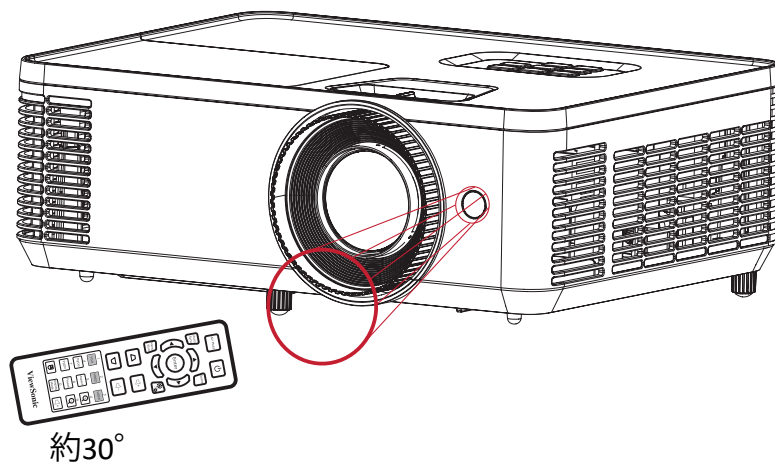
1. HDMIおよびUSBポートを介して、デスクトップパソコン/ノートパソコンをプロジェクターに接続します。
2. 入力ソースをPCに設定します。
3. リモコンの**マウスモード**ボタンを押して、ページ(上/下)コマンド(Microsoft PowerPointなど)を使用して表示されたソフトウェアプログラムを操作します。

## リモコン - 受信機の範囲

リモコンが正しく機能するようにするために、次の手順に従ってください。

1. リモコンを、プロジェクターのIRリモコンセンサーに対して30°以内で保持してください。
2. リモコンとセンサーの間の距離が、10 m (32.8フィート) を超えないようにしてください。

**注記：** 赤外線 (IR) リモコンセンサーの位置については、図を参照してください。

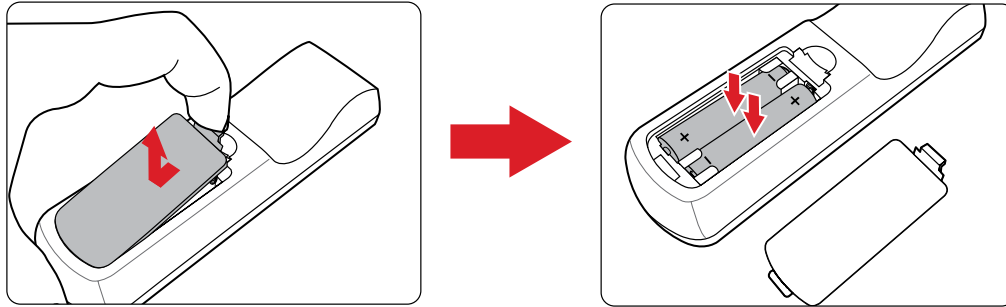


## リモコン - 電池の交換

1. フィンガーグリップを押しながらスライドさせて、リモコンの底面から電池カバーを取り外します。
2. 必要に応じて既存の電池を取り外し、2本の単四電池を取り付けます。

**注記：** 表示されているように電池の極性を確認してください。

3. 電池カバーをベースに合わせて押し込み、元の位置に戻します。



### 注記：

- リモコンと電池を暑い場所や湿気の多い場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じまたは同等のタイプのもののみと交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長期間使用しない場合は、リモコンの損傷を防ぐために電池を取り外してください。
- 使用済みの電池は、メーカーの指示および地域の環境規制に従って処分してください。

# セットアップ

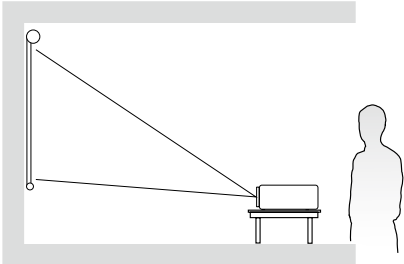
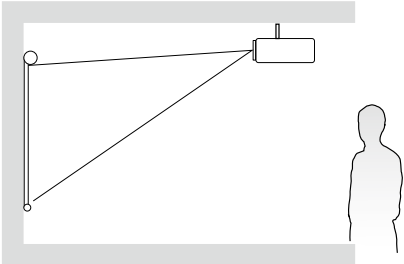
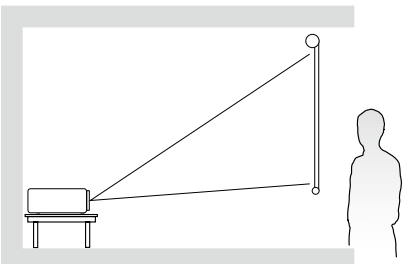
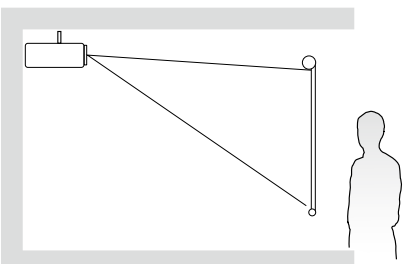
本章では、プロジェクターのセットアップについてご説明します。

## 場所の選択 - 投影方向

設置場所は、個人の好みや部屋のレイアウトによって決まります。次の点を考慮してください。

- スクリーンのサイズと位置。
- 適切なコンセントの場所。
- プロジェクターと他の装置との間の場所と距離。

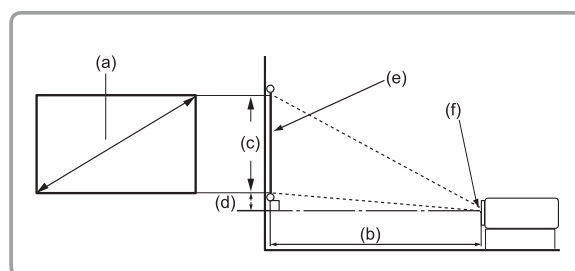
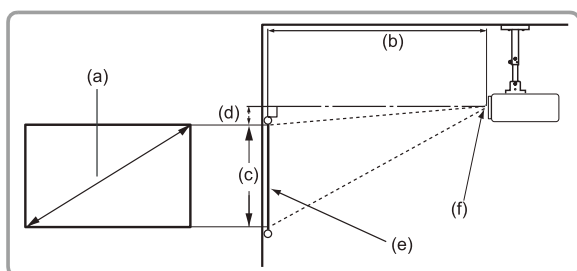
プロジェクターは、次のいずれかの場所に設置するように設計されています。

場所	
<b>前面机上</b> プロジェクターはスクリーンの正面の床の近くに配置されます。	
<b>前面天井</b> プロジェクターは、スクリーンの正面の天井から上下逆に吊り下げられます。	
<b>背面机上<sup>1</sup></b> プロジェクターは、スクリーンの後ろの床の近くに配置されます。	
<b>背面天井<sup>1</sup></b> プロジェクターは、スクリーンの後ろの天井から上下逆に吊り下げられます。	

<sup>1</sup> 背面投影スクリーンが必要です。

# 投影寸法

- 16:9スクリーン上の16:9画像



## 注記：

- (e) = スクリーン
- (f) = レンズを中心

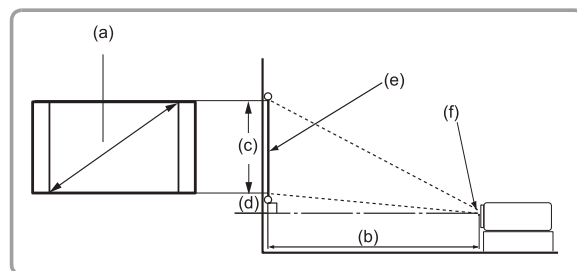
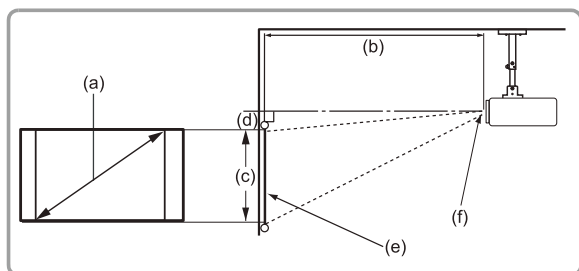
(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直 オフセット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
30	762	38.70	983	42.36	1076	14.71	374	2.35	60
40	1016	51.60	1311	56.48	1435	19.61	498	3.14	80
50	1270	64.50	1638	70.60	1793	24.51	623	3.92	100
60	1524	77.40	1966	84.72	2152	29.42	747	4.71	120
70	1778	90.30	2293	98.84	2510	34.32	872	5.49	139
80	2032	103.19	2621	112.96	2869	39.22	996	6.28	159
90	2286	116.09	2949	127.08	3228	44.12	1121	7.06	179
100	2540	128.99	3276	141.20	3586	49.03	1245	7.84	199
110	2794	141.89	3604	155.31	3945	53.93	1370	8.63	219
120	3048	154.79	3932	169.43	4304	58.83	1494	9.41	239
130	3302	167.69	4259	183.55	4662	63.73	1619	10.20	259
140	3556	180.59	4587	197.67	5021	68.64	1743	10.98	279
150	3810	193.49	4915	211.79	5380	73.54	1868	11.77	299
200	5080	257.99	6553	282.39	7173	98.05	2491	15.69	398
250	6350	322.48	8191	352.99	8966	122.57	3113	19.61	498
300	7620	386.95	9829	423.59	10759	147.08	3736	23.53	598

## 注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。



• 4:3スクリーン上の16:9画像



注記：

- (e) = スクリーン
- (f) = レンズの中心

(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直 オフセット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
30	762	35.53	902	38.88	988	13.50	343	2.16	55
40	1016	47.36	1203	51.84	1317	18.00	457	2.88	73
50	1270	59.20	1504	64.80	1646	22.50	572	3.60	91
60	1524	71.04	1804	77.76	1975	27.00	686	4.32	110
70	1778	82.88	2105	90.72	2304	31.50	800	5.04	128
80	2032	94.72	2406	103.68	2633	36.00	914	5.76	146
90	2286	106.56	2707	116.64	2963	40.50	1029	6.48	165
100	2540	118.40	3007	129.60	3292	45.00	1143	7.20	183
110	2794	130.24	3308	142.56	3621	49.50	1257	7.92	201
120	3048	142.08	3609	155.52	3950	54.00	1372	8.64	219
130	3302	153.92	3910	168.48	4279	58.50	1486	9.36	238
140	3556	165.76	4210	181.44	4609	63.00	1600	10.08	256
150	3810	177.60	4511	194.40	4938	67.50	1715	10.80	274
200	5080	236.80	6015	259.20	6584	90.00	2286	14.40	366
250	6350	296.00	7518	324.00	8230	112.50	2858	18.00	457
300	7620	355.20	9022	388.80	9876	135.00	3429	21.60	549

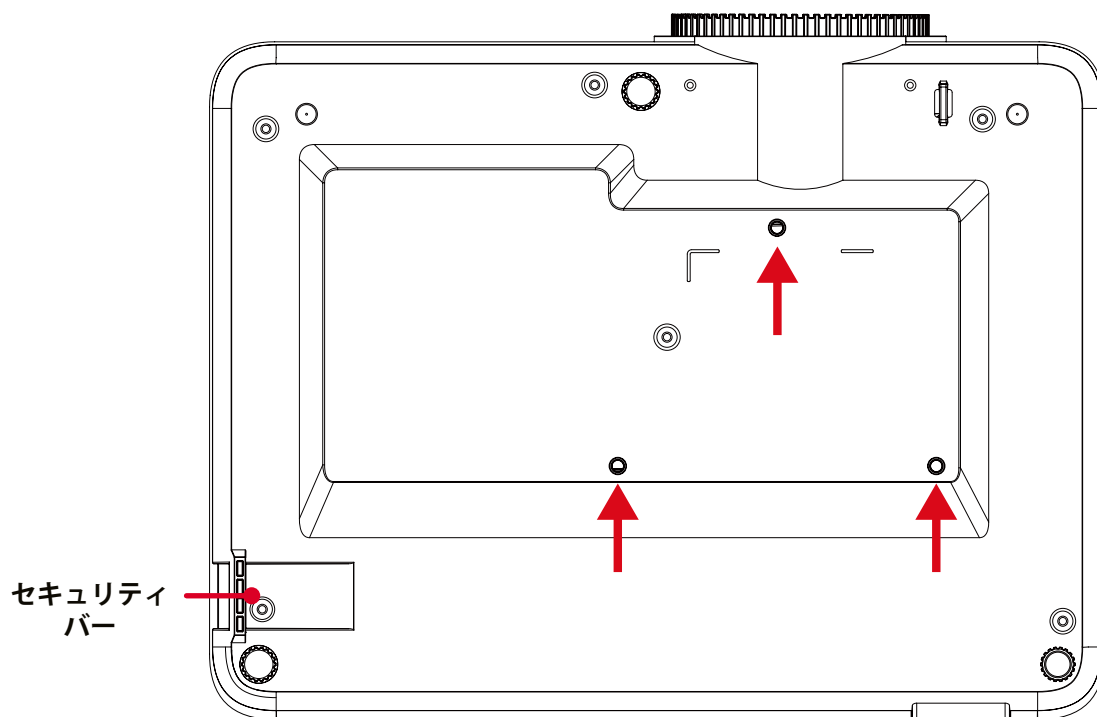
注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

## プロジェクターの取り付け

**注記：** サードパーティ製のマウントを購入する場合は、正しいネジサイズを使用してください。取り付けプレートの厚さによってネジサイズは異なります。

1. 最も安全な設置を確実にするために、ViewSonic®の壁または天井マウントを使用してください。
2. マウントをプロジェクターに取り付けるために使用するネジが、次の仕様を満たしていることを確認してください。
  - ネジタイプ：M4 x 7
  - 最大ネジ長さ：7 mm



### 注意：

- プロジェクターを熱源または空調設備の近くに設置しないでください。
- 天井とプロジェクターの底面の間に少なくとも10 cm（3.9インチ）の隙間を空けてください。

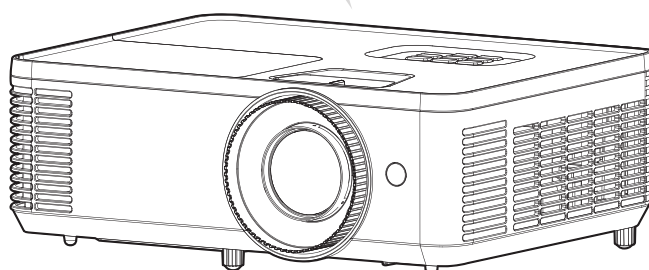
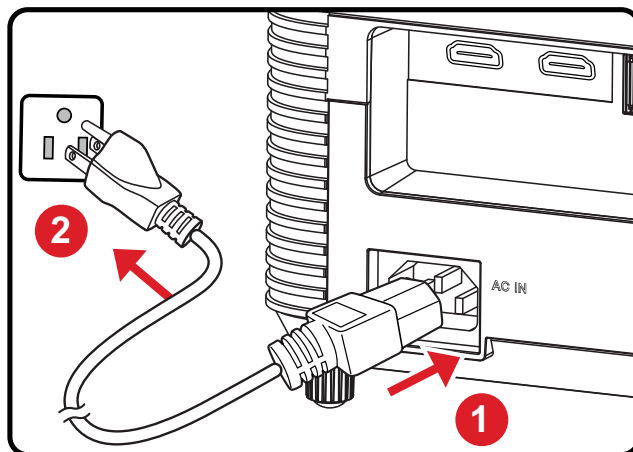
## セキュリティバーの使用

プロジェクターの盗難を避けるために、セキュリティスロットロックデバイスを使用して、プロジェクターを固定物に固定します。

# 本体の接続

## 電源との接続

1. 電源コードをプロジェクター背面のAC入力ジャックに接続します。
2. 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

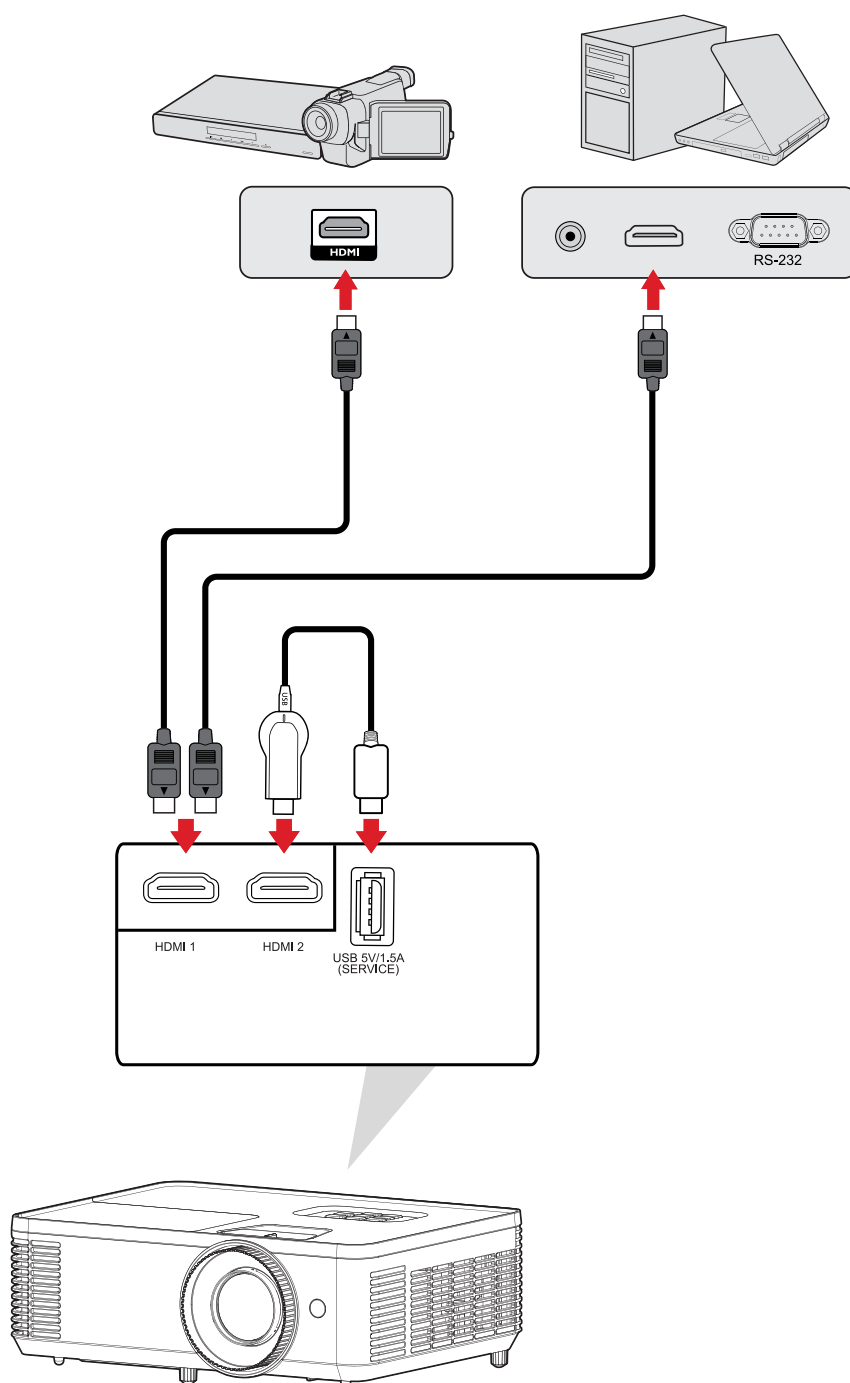


**注記：** プロジェクターを設置するときは、固定配線にすぐに手が届く切断機器を組み込むか、電源プラグを装置の近くにあるアクセスしやすいコンセントに接続してください。プロジェクターの操作中に障害が発生した場合は、切断機器を使用して電源を切るか、電源プラグを抜いてください。

# 外付け機器への接続

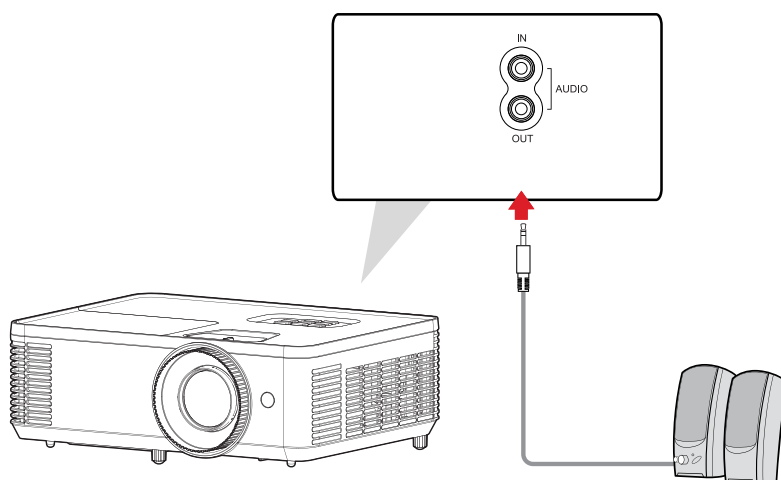
## HDMI接続

HDMIケーブルの片方をビデオ機器のHDMIポートに接続し、ケーブルの他端をプロジェクターのHDMI1/2ポートに接続します。



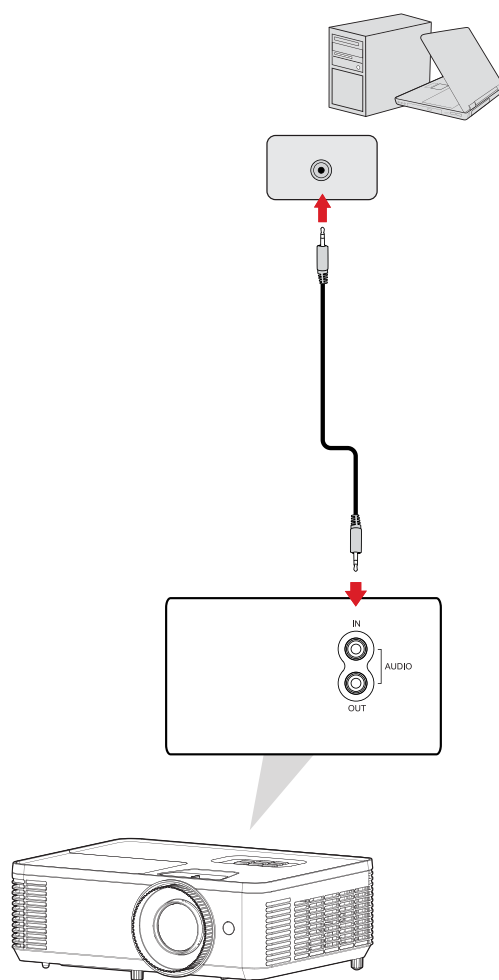
## オーディオ接続

音声出力ポートを介して、さまざまな外部サウンド配信デバイスに接続できます。



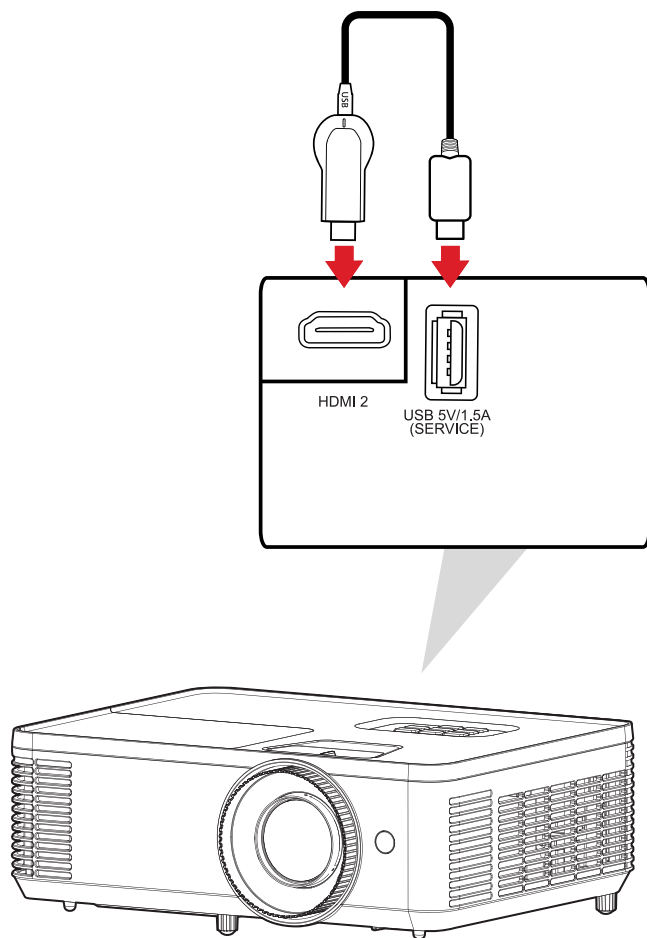
さらに、デバイスを音声入力ポートに接続して、プロジェクターの音声出力を使用できます。

**注記：** OSDメニューで音声入力をAUDIO1に設定する必要があります。



## USBタイプA接続

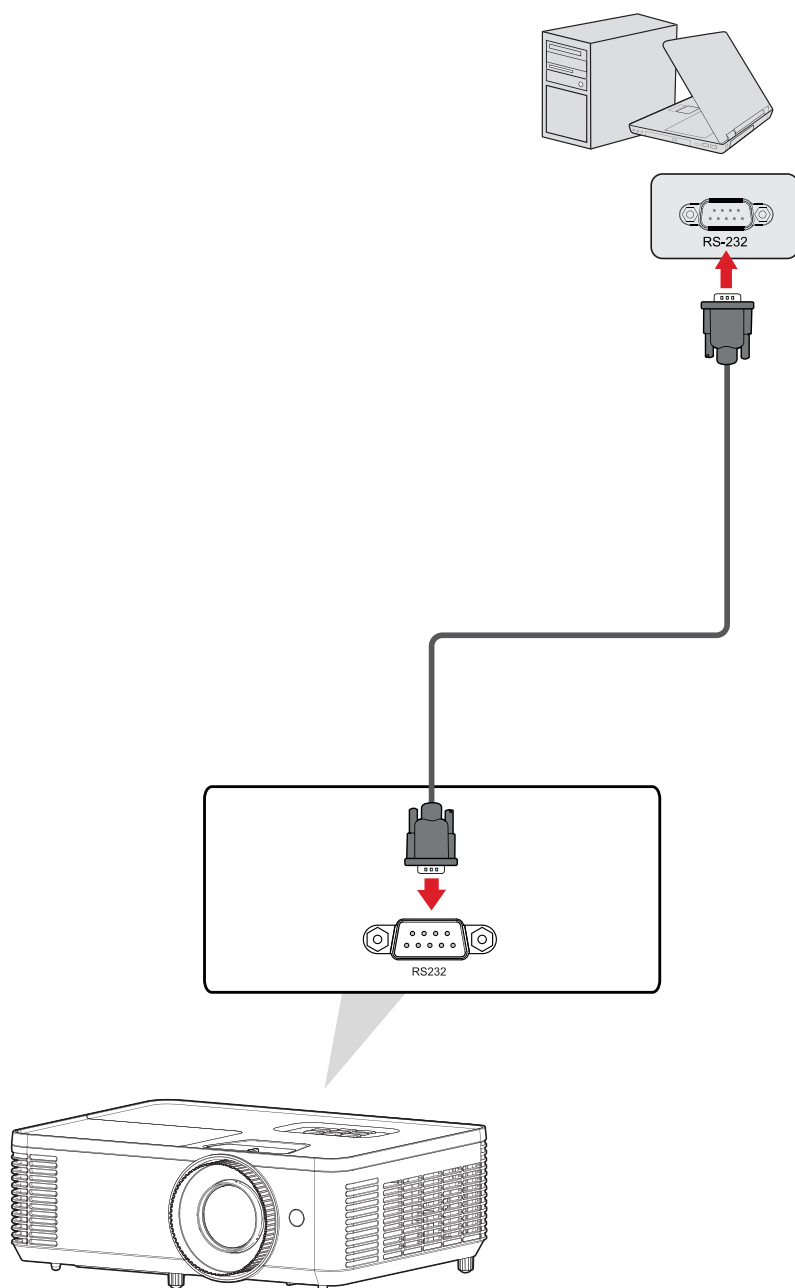
USBポートの用途：サービスおよびHDMIデバイス。



**注記：** USBタイプAは、HDMI dongle 充電用の5V/1.5A電源出力をサポートします。

## RS-232接続

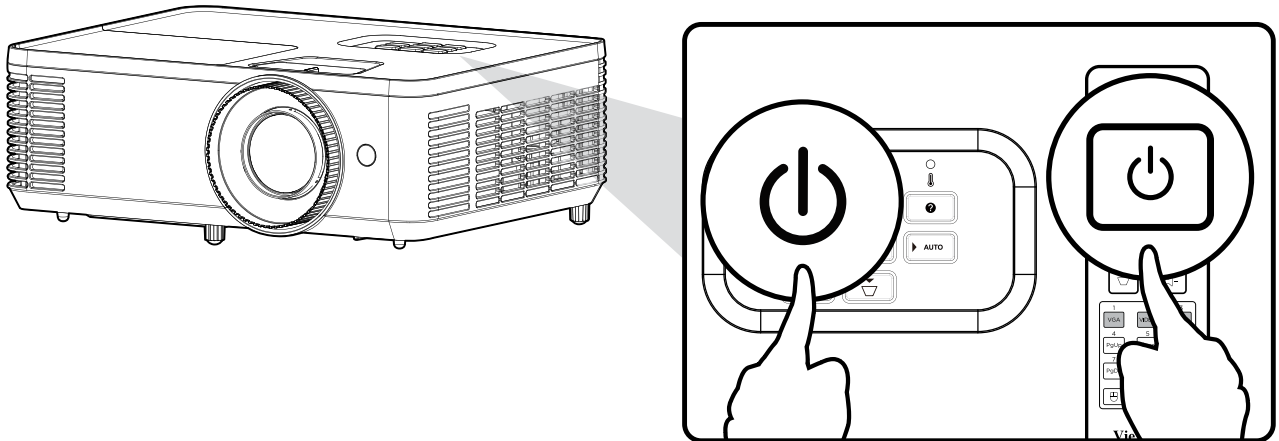
RS-232シリアルポートケーブルを使用してプロジェクターを外部コンピュータに接続すると、電源のオン/オフ、音量調整、入力選択など、特定の機能をPCからリモートで制御できます。





# プロジェクターの使用法

## プロジェクターを起動する



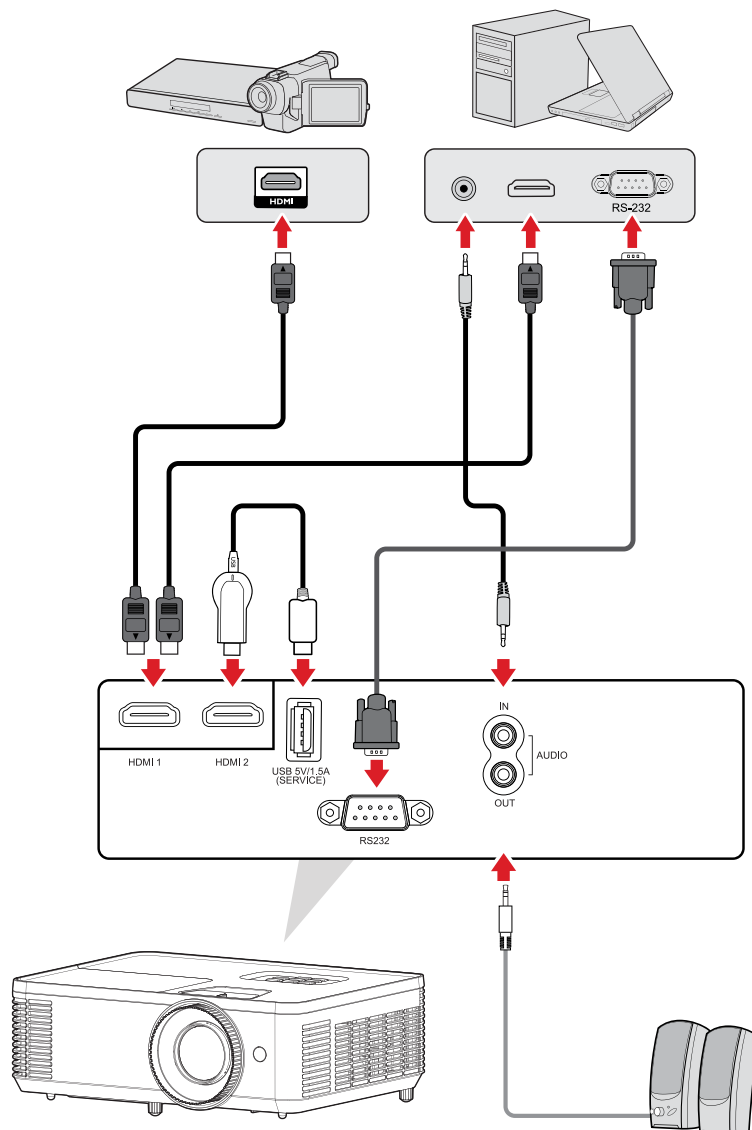
1. プロジェクターの電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。
2. プロジェクターまたはリモコンの**電源**ボタンを押して、プロジェクターをオンにします。

### 注記:

- 起動中に電源インジケータライトが青く点滅します。
- 起動後1分以内にプロジェクターの電源を切ることができません。

## 入力ソースを選択する

プロジェクターは同時に複数の機器に接続することができます。ただし、一度に1画面しか表示できません。

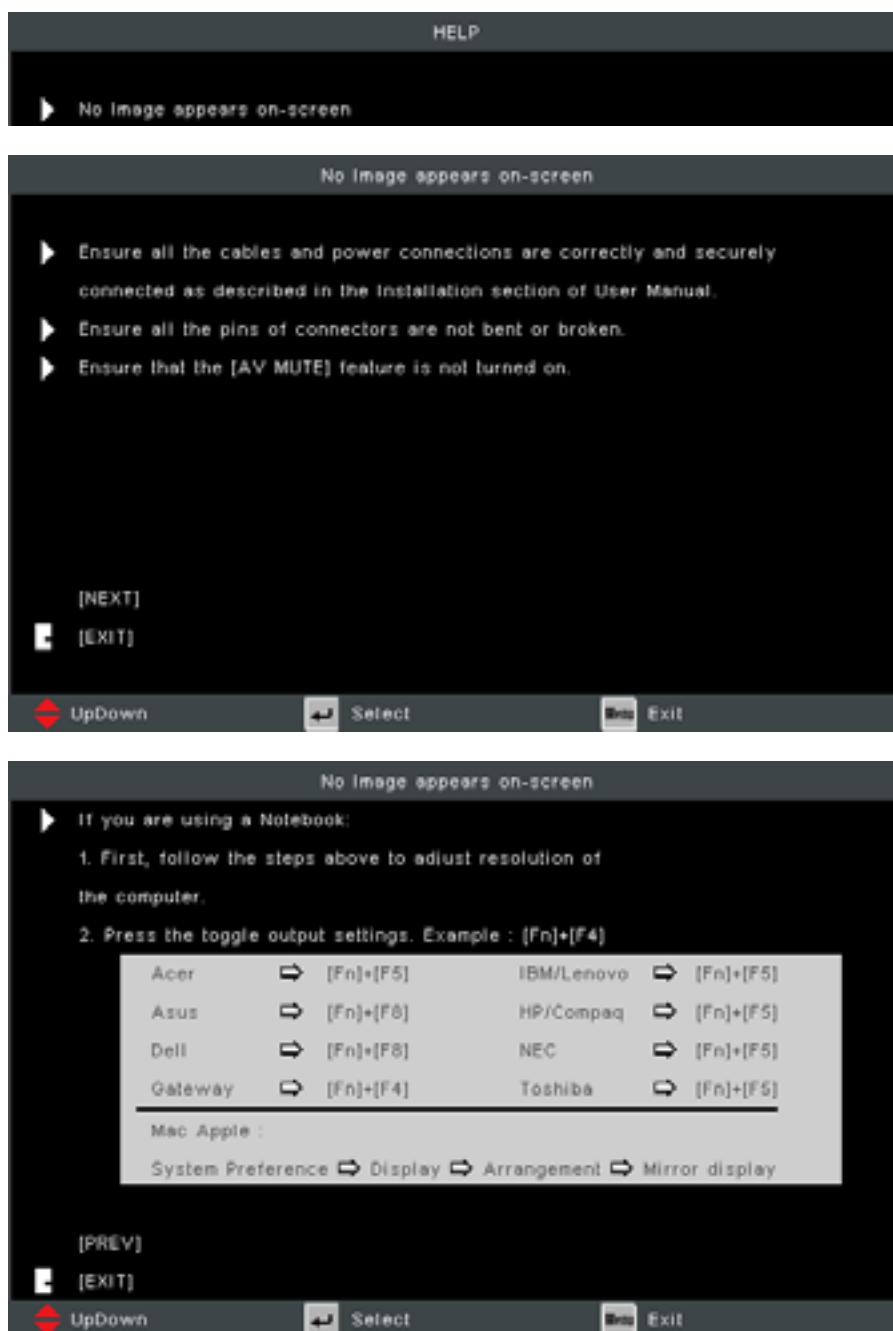


プロジェクターは、自動的に入力ソースを検索します。複数のソースが接続されている場合は、プロジェクターまたはリモコンの**Source (ソース)** ボタンを押して、目的の入力を選択します。

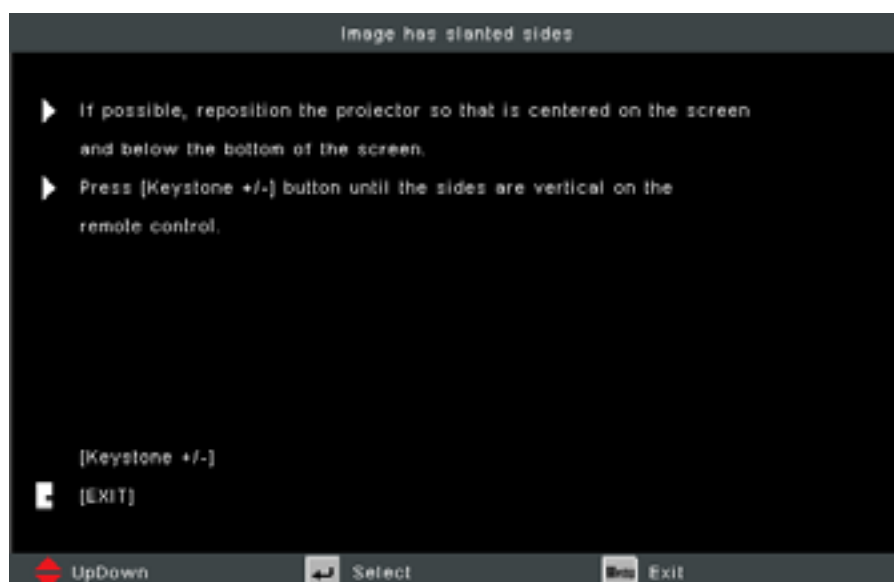
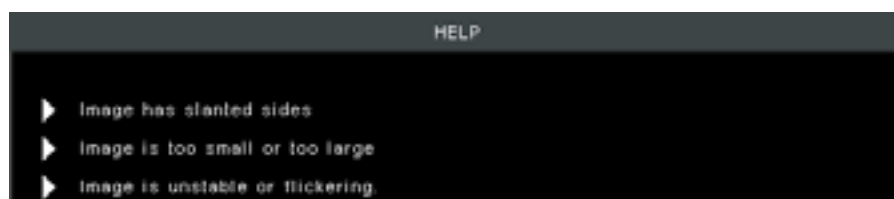
**注記：** 接続されたソースもオンであることを確認してください。

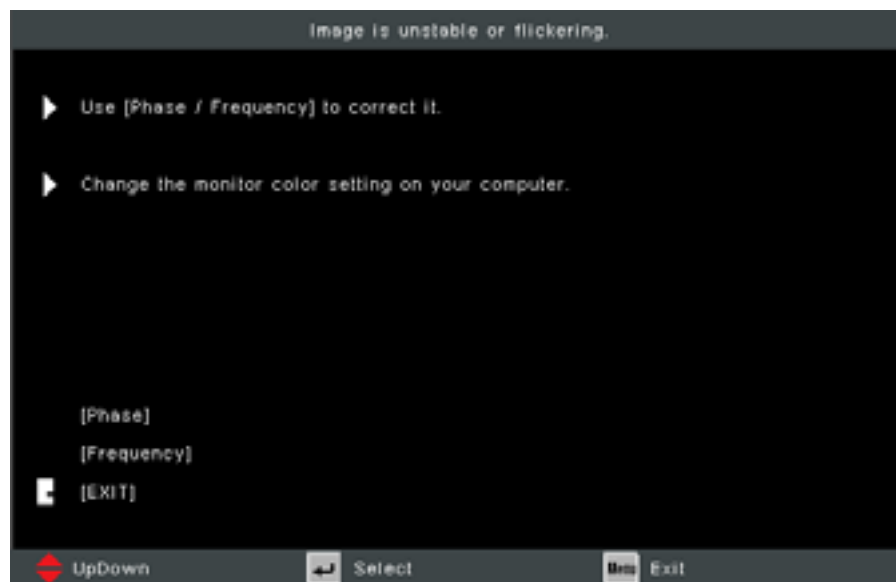
## Help Menu (ヘルプメニュー)

入力ソースが検出されない場合、以下の「Help Menu (ヘルプメニュー)」が表示されます。



入力ソースが検出された場合、以下の「Help Menu (ヘルプメニュー)」が表示されます。

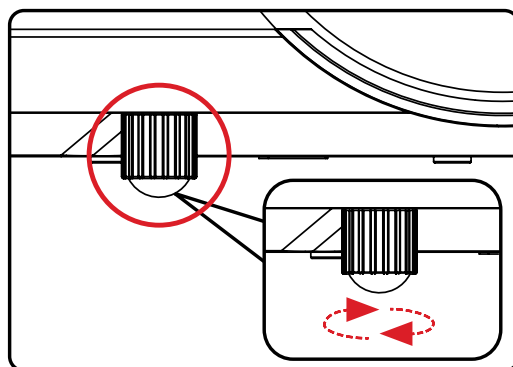
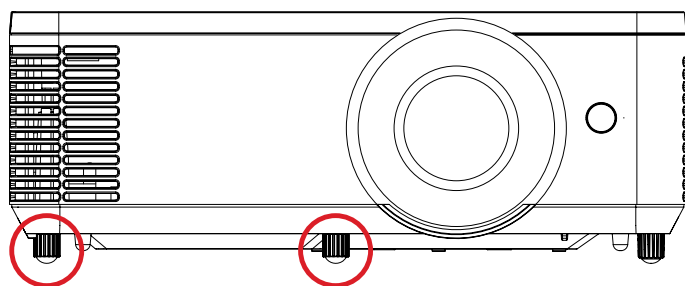




# 投影画像を調整する

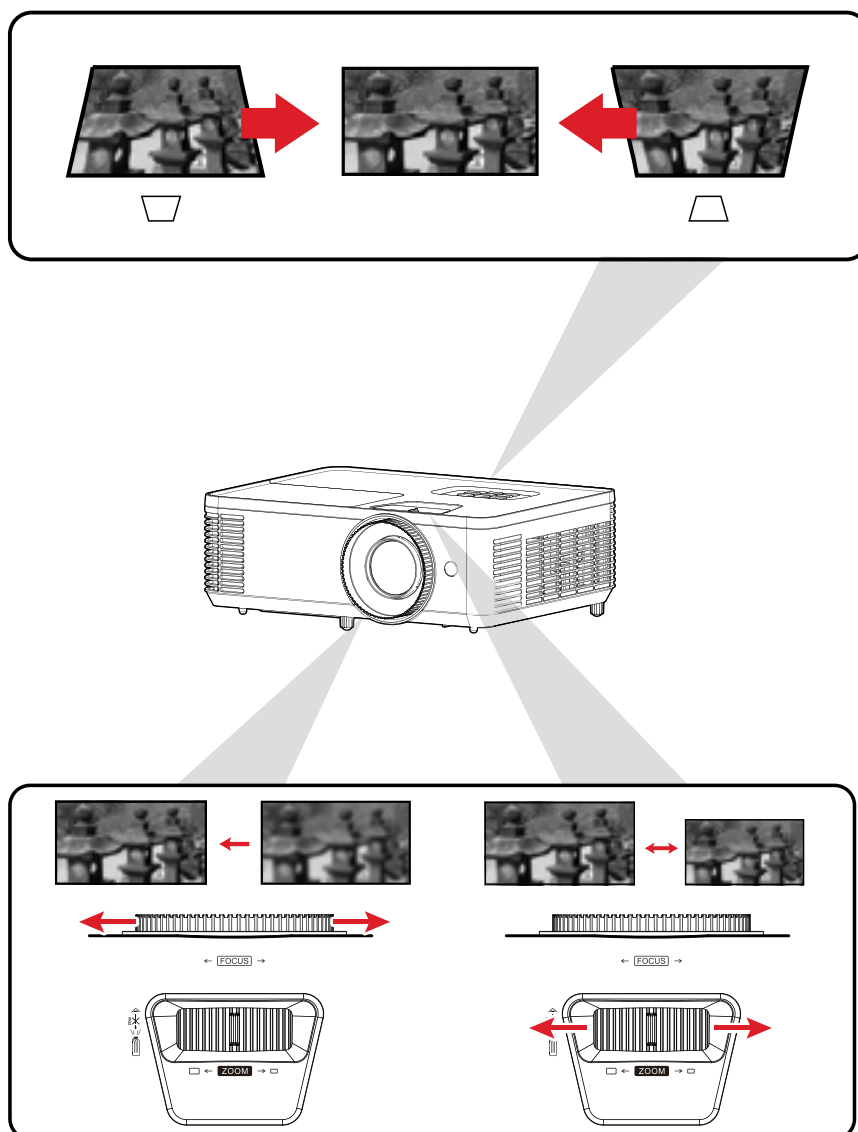
## プロジェクターの高さと投影角度を調整する

プロジェクターには2つの調整フットが付属します。フットを調整すると、プロジェクターの高さと垂直投影角度が変わります。



## フォーカス、キーストーン、ズームの調整

フォーカスリング、キーストーンキー、またはズームリングを調整することで、画像の鮮明さと位置を改善および調整できます。





## プロジェクターをシャットダウンする

1. プロジェクターまたはリモコンの**電源**ボタンを押すと、「電源オフメッセージ」が表示されます。

**注記：** 起動後1分以内にプロジェクターの電源を切ることができません。

2. **電源**ボタンをもう一度押して、確認し、プロジェクターをシャットダウンします。

**注記：** 冷却ファンは、冷却サイクルで約10秒間動作し続け、電源インジケータースタイルライトは青く点滅します。

3. 電源インジケータースタイルライトが、赤く点灯し、スタンバイモードに入ります。

**注記：** プロジェクターを元に戻したい場合は、冷却サイクルが終了し、プロジェクターがスタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードの場合は、**電源**ボタンをもう一度押してプロジェクターをオンにします。

# プロジェクターを操作する

## オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニュー

プロジェクターには、画像調整を行い、さまざまな設定を変更できる多言語オンスクリーンディスプレイメニューがあります。



メニュー	詳細
Image (画像)	Display Mode (ディスプレイモード)、Brightness (輝度)、Contrast (コントラスト)、その他の画像関連の設定を調整します。
Display (ディスプレイ)	Aspect Ratio (アスペクト比)、Zoom (ズーム)、Keystone (キーストーン)、3D設定を調整します。
Setup (セットアップ)	Language (言語)、Projection (投影)、Security (セキュリティ)、Audio Settings (音声設定)、HDMI CEC設定を調整します。
Options (オプション)	Input Source (入力ソース)を選択し、いくつかのプロジェクター設定を調整します。

## メニューナビゲーション

プロジェクターには、画像と設定の調整を行うための多言語オンスクリーンディスプレイメニューがあります。

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開くには、プロジェクターまたはリモコンの**Menu/Exit (メニュー/終了)** ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、**ナビゲーション**ボタン(▲▼)を使用して、メインメニューの任意のアイテムを選択します。特定のページで選択を行い、プロジェクターまたはリモコンの**Enter**ボタンを押して、サブメニューに入ります。
3. **ナビゲーション**ボタン(◀▶)を使用して、サブメニューで目的のアイテムを選択し、**Enter**を押して設定を表示します。**ナビゲーション**ボタン(◀▶)を使用して設定を調整します。
4. サブメニューで調整する次のアイテムを選択し、上記と同じ方法で調整します。
5. **Enter**を押して確認すると、前のメニューに戻ります。
6. 終了するには、**Menu/Exit (メニュー/終了)** ボタンをもう一度押します。OSDメニューが閉じられ、プロジェクターが新しい設定を自動的に保存します。

# メインメニュー構成

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Image (画像)	Display Mode (ディスプレイモード)	Standard (標準)	
		Bright (輝度)	
		Movie (映画)	
		Gaming (ゲーム)	
		Blackboard (ブラックボード)	
		User (ユーザー)	
		3D	
	Brightness (輝度)	(-/+, -50~50)	
	Contrast (コントラスト)	(-/+, -50~50)	
	Sharpness (シャープネス)	(-/+, 1~15)	
	Color (色)	(-/+, -50~50)	
	Tint (色合い)	(-/+, -50~50)	
	Advanced (高度)	Gamma (ガンマ調整)	Film (フィルム)
			Video (ビデオ)
			Graphics (グラフィックス)
			Standard (標準)
		BrilliantColor™	(-/+, 1~10)
		Color Temp (色温度)	Warm (暖色)
			Medium (中間色)
			Cold (寒色)

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
Display (ディスプレイ)	Advanced (高度)	Color Settings (カラー設定)	Red (赤)	Hue (色相)	(-/+, -50~50)
				Saturation (彩度)	(-/+, -50~50)
				Gain (ゲイン)	(-/+, -50~50)
				Exit (終了)	
			Green (緑)	Hue (色相)	(-/+, -50~50)
				Saturation (彩度)	(-/+, -50~50)
				Gain (ゲイン)	(-/+, -50~50)
				Exit (終了)	
			Blue (青)	Hue (色相)	(-/+, -50~50)
				Saturation (彩度)	(-/+, -50~50)
				Gain (ゲイン)	(-/+, -50~50)
				Exit (終了)	
			Cyan (藍色)	Hue (色相)	(-/+, -50~50)
				Saturation (彩度)	(-/+, -50~50)
				Gain (ゲイン)	(-/+, -50~50)
				Exit (終了)	
			Magenta (深紅色)	Hue (色相)	(-/+, -50~50)
				Saturation (彩度)	(-/+, -50~50)
				Gain (ゲイン)	(-/+, -50~50)
				Exit (終了)	
			Yellow (黄色)	Hue (色相)	(-/+, -50~50)
				Saturation (彩度)	(-/+, -50~50)
				Gain (ゲイン)	(-/+, -50~50)
				Exit (終了)	
			White (白色)	Red (赤)	(-/+, -50~50)
				Green (緑)	(-/+, -50~50)
				Blue (青)	(-/+, -50~50)
				Exit (終了)	
			Reset (リセット)		
			Exit (終了)		
		Color Space (色空間)	Auto (自動)		
			RGB (0~255)		
			RGB (16~235)		
			YUV		
		Exit (終了)			

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Display (ディスプレイ)	Format (形式)	4:3	
		16:9	
		LBX	
		Native (標準)	
		Auto (自動)	
	Edge Mask (エッジマスク)	(-/+ , 0~10)	
	Zoom (ズーム)	(-/+ , -5~25)	
	Image Shift (画像シフト)	H (Horizontal) (H (水平))	(-/+ , -100~100)
		V (Vertical) (V (垂直))	(-/+ , -100~100)
		Exit (終了)	
	V. Keystone (垂直キーストーン)	(-/+ , -40~40)	
	Auto Keystone (自動キーストーン)	On (オン)	
		Off (オフ)	
	3D	3D Mode (3Dモード)	Off (オフ)
			DLP-Link
		3D - 2D	3D
			L
			R
		3D Format (3D形式)	Auto (自動)
			Side by Side (サイド・バイ・サイド)
			Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)
			Frame Sequential (フレームシーケンシャル)
			On (オン)
			Off (オフ)
		Exit (終了)	
	3x Fast Input (3x高速入力)	On (オン)	
		Off (オフ)	

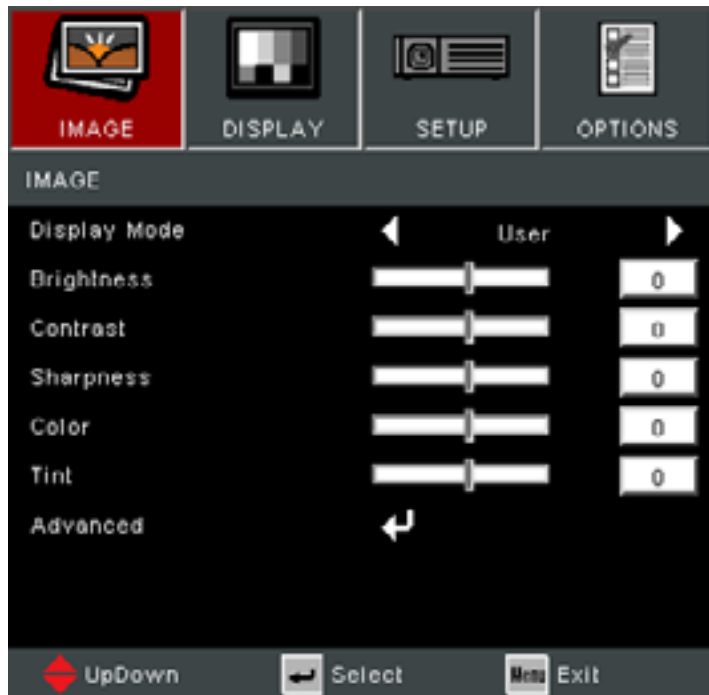
メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Setup (セットアップ)	Language (言語選択)	English	
		Deutsch	
		Français	
		Italiano	
		Español	
		Português	
		Polski	
		Nederlands	
		Svenska	
		Suomi	
		ελληνικά	
		繁體中文	
		簡體中文	
		Русский	
		Magyar	
		Čeština	
		عربي	
		ไทย	
		Türkçe	
		Tiếng Việt	
		Indonesia	
		日本語	
	Projection (投影)	Front Table (前面机上)	
		Front Ceiling (前面天井)	
		Rear Table (背面机上)	
		Rear Ceiling (背面天井)	
	Menu Location (メニュー位置)	Top-Left (左上)	
		Top-Right (右上)	
		Center (中央)	
		Bottom-Left (左下)	
		Bottom-Right (右下)	

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Setup (セットアップ)	Security (セキュリティ)	Security (セキュリティ)	On (オン)
			Off (オフ)
		Security Timer (セキュリティタイマー)	Month (月)
			Day (日)
			Hour (時間)
			Exit (終了)
		Change Password (パスワードの変更)	
		Exit (終了)	
	Audio Settings (オーディオ設定)	Mute (ミュート)	On (オン)
			Off (オフ)
		Volume (音量)	(-/+ , 0~10)
		Audio Input (オーディオ入力)	Default (デフォルト)
			AUDIO1
		Exit (終了)	
	Advanced (高度)	Logo (ロゴ)	Default (デフォルト)
			Neutral (ニュートラル)
		Exit (終了)	
	HDMI CEC	On (オン)	
		Off (オフ)	
Options (オプション)	Input Source (入力ソース)	HDMI 1	
		HDMI 2	
		Exit (終了)	
	Source Lock (ソースロック)	On (オン)	
		Off (オフ)	
	High Altitude (高地)	On (オン)	
		Off (オフ)	
	Information Hide (情報非表示)	On (オン)	
		Off (オフ)	
	Keypad Lock (キーパッドロック)	On (オン)	
		Off (オフ)	
	Test Pattern (テストパターン)	Grid (グリッド)	
		White (白色)	
	IR Function (IR機能)	On (オン)	
		Off (オフ)	



メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Options (オプション)	Background Color (背景色)	Black (黒)	
		Red (赤)	
		Blue (青)	
		Green (緑)	
		White (白色)	
	Advanced (高度)	Direct Power On (直接電源オン)	On (オン)
			Off (オフ)
		Auto Power Off (min) (自動電源オフ (分))	(-/+, 0~180) minutes ( (-/+, 0~180) 分)
		Signal Power On (信号電源オン)	On (オン)
			Off (オフ)
		Exit (終了)	
	Lamp Settings (ランプ設定)	Lamp Hour (ランプ使用時間)	
		Lamp Reminder (ランプ リマインダー)	On (オン)
			Off (オフ)
		Brightness Mode (輝度モード)	Bright (輝度)
			Eco (エコ)
			Dynamic (ダイナミック)
		Lamp Reset (ランプリセット)	Yes (はい)
			No (いいえ)
	Optional Filter Settings (オプション フィルター設定)	Optional Filter Installed (オプション フィルター装着)	Yes (はい)
			No (いいえ)
		Filter Usage Hours (フィルター 使用時間)	0~99999
		Filter Reminder (フィルター リマインダー)	Off (オフ)
			300 Hr (300時間)
			500 Hr (500時間)
			800 Hr (800時間)
			1000 Hr (1000時間)
		Filter Reset (フィルターリセット)	Yes (はい)
			No (いいえ)
		Exit (終了)	
	Reset (リセット)	Yes (はい)	
		No (いいえ)	

## Image Menu (画像メニュー)



メニュー	詳細																
Display Mode (ディスプレイモード)	<p>視聴の好みに合わせて選択できるいくつかの事前定義されたディスプレイモードがあります。</p> <table> <tr> <th>モード</th><th>詳細</th></tr> <tr> <td>Standard (標準)</td><td>日中の環境での日常の状況に適しています。</td></tr> <tr> <td>Bright (輝度)</td><td>明るく十分な照明のある環境に適しています。</td></tr> <tr> <td>Movie (映画)</td><td>映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。</td></tr> <tr> <td>Gaming (ゲーム)</td><td>ゲーム設定に適しています。</td></tr> <tr> <td>Blackboard (ブラックボード)</td><td>黒板への投影時に最適な色設定を実現します。</td></tr> <tr> <td>User (ユーザー)</td><td>ユーザーのカスタム設定。</td></tr> <tr> <td>3D</td><td>3Dコンテンツ用に最適化されています。 <b>注記:</b> 3Dメガネが必要です。</td></tr> </table>	モード	詳細	Standard (標準)	日中の環境での日常の状況に適しています。	Bright (輝度)	明るく十分な照明のある環境に適しています。	Movie (映画)	映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。	Gaming (ゲーム)	ゲーム設定に適しています。	Blackboard (ブラックボード)	黒板への投影時に最適な色設定を実現します。	User (ユーザー)	ユーザーのカスタム設定。	3D	3Dコンテンツ用に最適化されています。 <b>注記:</b> 3Dメガネが必要です。
モード	詳細																
Standard (標準)	日中の環境での日常の状況に適しています。																
Bright (輝度)	明るく十分な照明のある環境に適しています。																
Movie (映画)	映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。																
Gaming (ゲーム)	ゲーム設定に適しています。																
Blackboard (ブラックボード)	黒板への投影時に最適な色設定を実現します。																
User (ユーザー)	ユーザーのカスタム設定。																
3D	3Dコンテンツ用に最適化されています。 <b>注記:</b> 3Dメガネが必要です。																
Brightness (輝度)	値が大きいほど、画像は明るくなります。値を小さくすると、画像が暗くなります。																
Contrast (コントラスト)	選択した入力と視聴環境に合うように、 <b>Brightness (輝度)</b> 設定を以前に調整した後で、これを使用してピークホワイトレベルを設定します。																
Sharpness (シャープネス)	値が大きいほど鮮明な画像になります。低い値では画像が柔らかくなります。																
Color (色)	白黒から完全に飽和した色に画像を調整します。																

メニュー	詳細
Tint (色合い)	<p>値が高いほど、画像は緑色が強くなります。値が低いほど、画像は赤色が強くなります。</p>
Advanced (高度)	<p><u>Gamma (ガンマ調整)</u> 入力ソースと画像輝度の関係を反映しています。</p> <p><u>BrilliantColor™</u> 画像絵の中で真の、より鮮やかな色を提供しながら、より高い明るさを可能にする色処理アルゴリズムと強化。</p> <p><u>Color Temperature (色温度)</u> Warm (暖色)、Medium (中間色)、またはCold (冷色) から選択します。</p> <p><u>Color Setting (カラー設定)</u> 会議室、講堂、ホームシアターなど、照明レベルが制御された恒久的な設備でのみ、色管理を検討する必要があります。色管理は、より正確な色再現を可能にするために、詳細な色制御調整を提供します。最初にPrimary Color (原色) を選択し、Hue (色相)、Saturation (彩度)、Gain (ゲイン) でその範囲/値を調整します。</p> <p><u>Color Space (色空間)</u> Auto (自動)、RGB (0～255)、RGB (16～235)、Yuv色空間から選択します。</p> <p><u>Exit (終了)</u> Advanced (詳細) メニューを終了します。</p>

## Display Menu (ディスプレイメニュー)



メニュー	詳細												
Format (形式)	<p>投影画像のアスペクト比を選択します。</p> <table> <tr> <th>Aspect Ratio (アスペクト比)</th><th>詳細</th></tr> <tr> <td>4:3</td><td>4:3のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および4:3アスペクト比のDVDムービーのような4:3画像に最適です。</td></tr> <tr> <td>16:9</td><td>16:9のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに16:9のアスペクト比の画像に最適です。</td></tr> <tr> <td>LBX</td><td>非16:9レターボックスソースの場合、2.35:1のアスペクト比をフル解像度で表示する場合。</td></tr> <tr> <td>Native (標準)</td><td>画像を元の解像度で投影し、表示領域内に収まるようにサイズ変更します。より低い解像度の入力信号の場合、投影された画像は元のサイズで表示されます。</td></tr> <tr> <td>Auto (自動)</td><td>プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3でも16:9でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。</td></tr> </table>	Aspect Ratio (アスペクト比)	詳細	4:3	4:3のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および4:3アスペクト比のDVDムービーのような4:3画像に最適です。	16:9	16:9のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに16:9のアスペクト比の画像に最適です。	LBX	非16:9レターボックスソースの場合、2.35:1のアスペクト比をフル解像度で表示する場合。	Native (標準)	画像を元の解像度で投影し、表示領域内に収まるようにサイズ変更します。より低い解像度の入力信号の場合、投影された画像は元のサイズで表示されます。	Auto (自動)	プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3でも16:9でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。
Aspect Ratio (アスペクト比)	詳細												
4:3	4:3のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および4:3アスペクト比のDVDムービーのような4:3画像に最適です。												
16:9	16:9のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに16:9のアスペクト比の画像に最適です。												
LBX	非16:9レターボックスソースの場合、2.35:1のアスペクト比をフル解像度で表示する場合。												
Native (標準)	画像を元の解像度で投影し、表示領域内に収まるようにサイズ変更します。より低い解像度の入力信号の場合、投影された画像は元のサイズで表示されます。												
Auto (自動)	プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3でも16:9でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。												
Edge Mask (エッジマスク)	ビデオソースの端にあるビデオエンコーディングノイズを削除します。												
Zoom (ズーム)	投影画像を縮小または拡大します。												
Image Shift (画像シフト)	投影画像を水平または垂直に調整します。												
V. Keystone (垂直キーストーン)	画像の歪みを垂直に調整します。												
Auto Keystone (自動キーストーン)	キーストーンを自動的に修正します。												

メニュー	詳細									
3D	<u>3D Mode (3Dモード)</u> 3D機能を有効または無効にします。									
	<u>3D-2D</u> 3Dコンテンツを画面に表示する方法を選択します。									
	<table><tr><th>オプション</th><th>詳細</th></tr><tr><td>3D</td><td>3D信号を表示します。</td></tr><tr><td>L (Left) (L (左))</td><td>3Dコンテンツの左フレームを表示します。</td></tr><tr><td>R (Right) (R (右))</td><td>3Dコンテンツの右フレームを表示します。</td></tr></table>	オプション	詳細	3D	3D信号を表示します。	L (Left) (L (左))	3Dコンテンツの左フレームを表示します。	R (Right) (R (右))	3Dコンテンツの右フレームを表示します。	
	オプション	詳細								
	3D	3D信号を表示します。								
L (Left) (L (左))	3Dコンテンツの左フレームを表示します。									
R (Right) (R (右))	3Dコンテンツの右フレームを表示します。									
<u>3D Format (3D形式)</u> 3Dコンテンツ形式を選択します。										
<p><b>注記:</b> Blu-ray 3Dソースは自動的に検出され、オプションは選択できません。</p> <table><tr><th>オプション</th><th>詳細</th></tr><tr><td>Auto (自動)</td><td>3D識別信号が検出されると、3D形式が自動的に選択されます。</td></tr><tr><td>Side by Side (サイド・バイ・サイド)</td><td>サイドバイサイド形式で表示します。</td></tr><tr><td>Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)</td><td>トップアンドボトム形式で表示します。</td></tr><tr><td>Frame Sequential (フレームシーケンシャル)</td><td>フレームシーケンシャル形式で表示します。</td></tr></table>	オプション	詳細	Auto (自動)	3D識別信号が検出されると、3D形式が自動的に選択されます。	Side by Side (サイド・バイ・サイド)	サイドバイサイド形式で表示します。	Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)	トップアンドボトム形式で表示します。	Frame Sequential (フレームシーケンシャル)	フレームシーケンシャル形式で表示します。
オプション	詳細									
Auto (自動)	3D識別信号が検出されると、3D形式が自動的に選択されます。									
Side by Side (サイド・バイ・サイド)	サイドバイサイド形式で表示します。									
Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)	トップアンドボトム形式で表示します。									
Frame Sequential (フレームシーケンシャル)	フレームシーケンシャル形式で表示します。									
3x Fast Input (3x高速入力)	<u>3D Sync Invert (3D同期反転)</u> 3D同期反転機能を有効または無効にします。									
	<p>有効にすると、ネイティブタイミングでの応答時間が短縮されます。次の設定も工場出荷時のプリセット値に戻ります: Format (フォーマット)、Edge Mask (エッジマスク)、Zoom (ズーム)、Image Shift (画像シフト)、V Keystone (垂直キーストーン)、Auto Keystone (自動キーストーン)、3D functions (3D機能)。</p> <p><b>注記:</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>この機能は、ネイティブタイミング入力信号が選択されている場合にのみ使用できます。</li><li>Format (フォーマット)、Edge Mask (エッジマスク)、Zoom (ズーム)、Image Shift (画像シフト)、V Keystone (垂直キーストーン)、Auto Keystone (自動キーストーン)、または3D functions (3D機能)を調整する場合は、3x Fast Input (3x高速入力)を無効にしてください。</li></ul>									

**注記：** このプロジェクターは、DLP-Link 3Dソリューションを備えた3D対応プロジェクターです。3DメガネがDLP-Link 3D用であることを確認してください。このプロジェクターは、**HDMI 1/HDMI 2**ポートを介してフレームシーケンシャル (Page-Flip) 3Dをサポートします。最高性能を達成するには、1920 x 1080の解像度をお勧めします。4K (3840 x 2160) の解像度は3Dモードではサポートされていないことに注意してください。

## Setup Menu (セッアップメニュー)

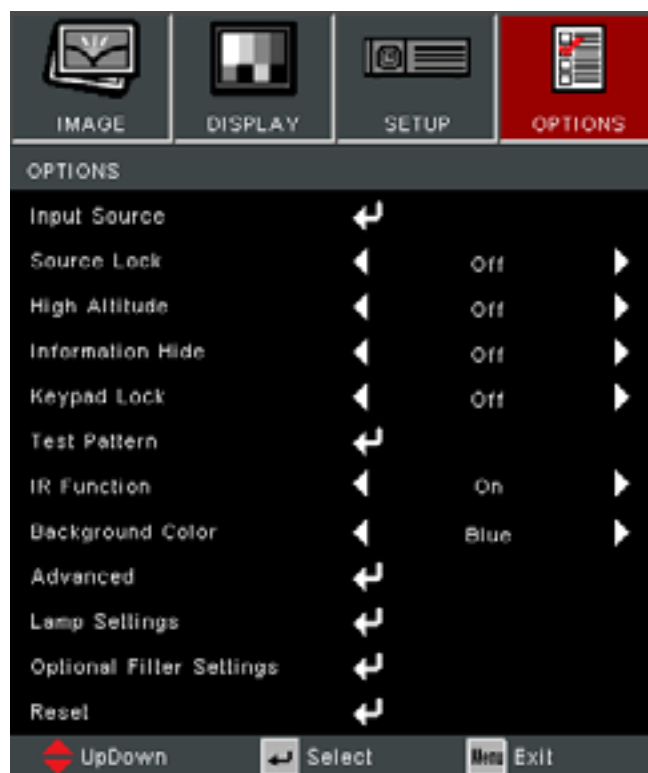


メニュー	詳細						
Language (言語選択)	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの言語を選択します。						
Projection (投影)	好ましい投影位置を選択します。						
Menu Location (メニュー位置)	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの場所を選択します。						
Security (セキュリティ)	<p><u>Security (セキュリティ)</u> プロジェクターを使用する前に、パスワードプロンプトを有効または無効にします。 <b>注記:</b> デフォルトのパスワードは次のとおりです: 1234</p> <p><u>Security Timer (セキュリティタイマー)</u> プロジェクターを使用できる時間を設定します。この時間が経過すると、パスワードを再度入力するように要求されます。</p> <p><u>Change Password (パスワードの変更)</u> パスワードを設定または変更します。</p>						
Audio Settings (オーディオ設定)	<p><u>Mute (ミュート)</u> 一時的に音をオフにします。</p> <p><u>Volume (音量)</u> 音量レベルを調整します。</p> <p><u>Audio Input (オーディオ入力)</u> 音声入力方式を選択できます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>オプション</th><th>詳細</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Default (デフォルト)</td><td>HDMI信号からの音声。</td></tr> <tr> <td>AUDIO1</td><td>3.5mm AUDIO IN (音声入力) ポートからの音声。</td></tr> </tbody> </table>	オプション	詳細	Default (デフォルト)	HDMI信号からの音声。	AUDIO1	3.5mm AUDIO IN (音声入力) ポートからの音声。
オプション	詳細						
Default (デフォルト)	HDMI信号からの音声。						
AUDIO1	3.5mm AUDIO IN (音声入力) ポートからの音声。						

メニュー	詳細						
Advanced (高度)	<p><u>Logo (ロゴ)</u> 「起動画面」を設定します。変更が行われた場合、プロジェクターが次に電源を入れたときに有効になります。</p> <table> <tr> <th>オプション</th><th>詳細</th></tr> <tr> <td>Default (デフォルト)</td><td>ViewSonicの起動画面。</td></tr> <tr> <td>Neutral (ニュートラル)</td><td>Background Color (背景色) 設定と同じ色。</td></tr> </table>	オプション	詳細	Default (デフォルト)	ViewSonicの起動画面。	Neutral (ニュートラル)	Background Color (背景色) 設定と同じ色。
オプション	詳細						
Default (デフォルト)	ViewSonicの起動画面。						
Neutral (ニュートラル)	Background Color (背景色) 設定と同じ色。						
HDMI CEC	<p>HDMI CEC互換性のあるデバイスをHDMIケーブルを使用してプロジェクターに接続すると、プロジェクターのOSDのHDMI CEC制御機能を使用して、同じ電源オンまたは電源オフステータスでプロジェクターを制御できます。これにより、グループ内の1つのデバイスまたは複数のデバイスをHDMI CECを介して電源を入れたり、電源を切ったりすることができます。</p> <p><b>注記：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CEC機能が正常に動作するためには、デバイスがHDMIケーブルを介してプロジェクターのHDMI入力に正しく接続され、そのCEC機能がオンになっていることを確認してください。</li> <li>• 接続されたデバイスによっては、CEC機能が機能しない場合があります。</li> <li>• CEC機能は、プロジェクターがデバイスの電源をオフにすることと、デバイスがプロジェクターの電源をオンにすることをサポートします。</li> </ul>						



## Options Menu (オプションメニュー)



メニュー	詳細
<b>Input Source (入力ソース)</b>	このオプションを使用して、入力ソースを有効/無効にします。
<b>Source Lock (ソースロック)</b>	<u>On (オン)</u> プロジェクターは、現在の入力選択のみを検索します。 <u>Off (オフ)</u> 現在の入力信号が失われると、プロジェクターは他の信号を検索します。
<b>High Altitude (高地)</b>	「On (オン)」を選択すると、ファンの回転が速くなります。この機能は、空気が薄い高地で役立ちます。
<b>Information Hide (情報非表示)</b>	「On (オン)」を選択すると、情報メッセージが非表示になります。「Off (オフ)」を選択すると、ソースメッセージが表示されます。
<b>Keypad Lock (キーパッドロック)</b>	キーパッドロック機能が「On (オン)」の場合、コントロールパネルはロックされますが、プロジェクターはリモコンで操作できます。「Off (オフ)」を選択すると、コントロールパネルを再度使用できるようになります。 <b>注記:</b> キーパッドロックをオフにするには、プロジェクター上部の「Enter」キーを5秒間押し続けます。
<b>Test Pattern (テストパターン)</b>	テストパターンをグリッドと白から選択します。
<b>IR Function (IR機能)</b>	リモコン操作を有効/無効にします。

メニュー	詳細								
Background Color (背景色)	入力ソースが利用できない場合、黒、赤、青、緑、または白の画面を表示します。								
Advanced (高度)	<p><u>Direct Power On (直接電源オン)</u> プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押すことなく、AC電源が供給されるときにプロジェクターに自動的に電源を入れます。</p> <p><u>Auto Power Off (自動電源オフ)</u> プロジェクターに信号が送信されていないときに、カウントダウンタイマーが開始されます。カウントダウンが終了すると、プロジェクターは自動的に電源が切れます (数分後)。</p> <p><u>Signal Power On (信号電源オン)</u> 入力ソースから信号が検出されると、プロジェクターまたはリモコンの<b>Power (電源)</b> ボタンを押さなくても、プロジェクターの電源が自動的にオンになります。</p> <p><b>注記:</b> HDMI ケーブルが1本すでに接続されている場合、プロジェクターはHDMIによって自動的に電源が入りません。</p> <p><u>Exit (終了)</u> Advanced (詳細) メニューを終了します。</p>								
Lamp Settings (ランプ設定)	<p><u>Lamp Hour (ランプ使用時間)</u> 現在のランプのランプ使用時間を表示します。</p> <p><u>Lamp Reminder (ランプリマインダー)</u> 「ランプ交換メッセージ」表示時の警告メッセージの表示/非表示を切り替えます。</p> <p><u>Brightness Mode (輝度モード)</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>オプション</th><th>詳細</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Bright (輝度)</td><td>最高の明るさと消費電力の状態です。</td></tr> <tr> <td>Eco (エコ)</td><td>光出力を暗くし、消費電力を低下させます。</td></tr> <tr> <td>Dynamic (ダイナミック)</td><td>最適なコントラストパフォーマンスを提供するために、画像の明るさを自動的に調整します。</td></tr> </tbody> </table> <p><u>Lamp Reset (ランプリセット)</u> Lamp Hour (ランプ使用時間) カウンターをリセットします。ランプを交換してからご使用ください。</p> <p><u>Exit (終了)</u> Lamp Settings (ランプ設定) を終了します。</p>	オプション	詳細	Bright (輝度)	最高の明るさと消費電力の状態です。	Eco (エコ)	光出力を暗くし、消費電力を低下させます。	Dynamic (ダイナミック)	最適なコントラストパフォーマンスを提供するために、画像の明るさを自動的に調整します。
オプション	詳細								
Bright (輝度)	最高の明るさと消費電力の状態です。								
Eco (エコ)	光出力を暗くし、消費電力を低下させます。								
Dynamic (ダイナミック)	最適なコントラストパフォーマンスを提供するために、画像の明るさを自動的に調整します。								

メニュー	詳細
Optional Filter Settings (オプションフィルター 設定)	<p><u>Optional Filter Installed (オプションフィルター装着)</u> 「Yes (はい)」を選択すると、指定した時間後に警告メッセージが表示されます。「No (いいえ)」を選択すると、警告メッセージが表示されなくなります。</p> <p><b>注記:</b> デフォルトの設定は「No (いいえ)」です。フィルターを取り付けた後、プロジェクターの電源を入れてMenu (メニュー) を押し、Options (オプション) &gt; Optional Filter Settings (オプションのフィルター設定) &gt; Optional Filter Installed (オプションフィルター装着) に移動し、Yes (はい) を選択します。</p> <p><u>Filter Usage Hours (フィルター使用時間)</u> フィルター使用時間を表示します。</p> <p><u>Filter Reminder (フィルターリマインダー)</u> フィルターメッセージが表示されるまでの時間数を選択します。</p> <p><b>注記:</b> 工場出荷時のデフォルトは500時間です。</p> <p><u>Filter Reset (フィルターリセット)</u> ダストフィルターの交換や清掃後は、ダストフィルターカウンターをリセットしてください。</p> <p><u>Exit (終了)</u> Optional Filter Settings (オプションフィルター設定) メニューを終了します。</p>
Reset (リセット)	<p>設定をデフォルトに戻します。</p> <p><b>注記:</b> リセットする場合、次の設定はそのまま維持されます: Auto Keystone (自動キーストーン)、Filter Usage Hour (フィルター使用時間)、High Altitude (高高度)、Lamp hours (ランプ使用時間)、Language (言語)、Optional Filter installed (オプションフィルター装着)、Password (パスワード)、Projection (投影)、Security (セキュリティ)、Security Timer (セキュリティタイマー)、V Keystone (垂直キーストーン)。</p>

**注記:**

- ダストフィルターを取り付けると、プロジェクターの騒音レベルが高くなる場合があります。
- 高温 (>35°C) または高高度 (>1524m) での操作条件では、ダストフィルターを取り付けるときに「High Altitude (高地)」冷却モードに切り替えることをお勧めします。
- ダストフィルターを取り付けた後、100時間ごとにダストフィルターを清掃することをお勧めします。
- フィルターを取り付けたり取り外したりする前に、プロジェクターの電源を切り、電源からプラグを抜いてください。

# 付録

## 仕様

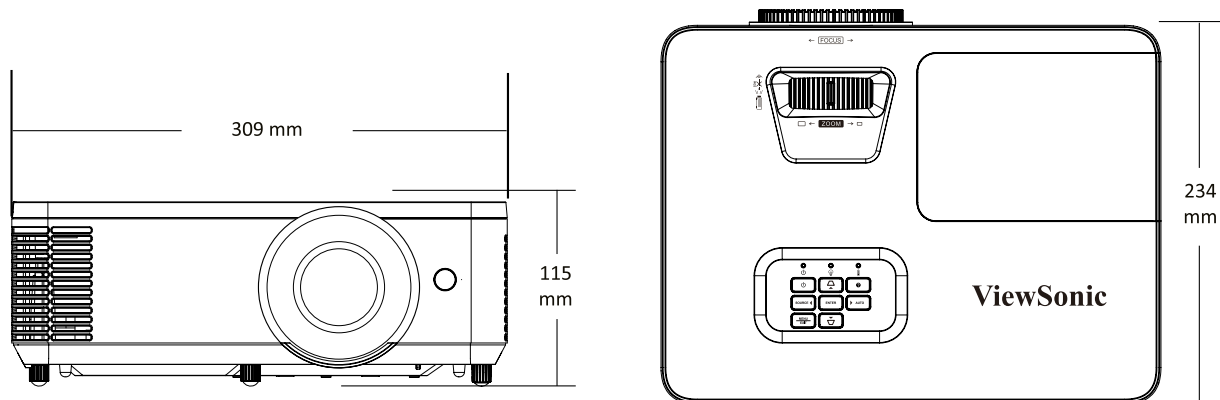
項目	区分	仕様
プロジェクター	タイプ	ランプ
	画面サイズ	30"～300"
	スローレシオ	1.48～1.62 (100インチ@3.28m)
	レンズ	F=2.5～2.67、f=21.8～24.0 mm
	ディスプレイシステム	1-CHIP DMD
解像度	標準	1920 x 1080
入力信号	HDMI	f <sub>h</sub> : 15～102kHz、f <sub>v</sub> : 23～120Hz、 ピクセルレート: 170MHz
電源 <sup>1</sup>	入力電圧	100-240VAC, 50/60Hz (自動切替)
動作環境	気温	0°C～40°C (32°F～104°F)
	湿度	10%～80% (非結露)
	高度	0～772m (0～2,500フィート) (0°C～40°C) 772 m～1,524m (2,500～5,000フィート) (0°C～35°C) 1,524 m～3,048m (5,000～10,000フィート) (0°C～30°C)
保管環境	気温	-20°C～60°C (-4°F～140°F)
	湿度	10%～90% (非結露)
	高度	0～12.1 km (0～40,000フィート)
寸法	寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	309 x 115 x 234 mm (12.2" x 4.5" x 9.21")
重量	寸法	2.70 kg (5.95 lbs)
節約モード	オン <sup>2</sup>	295W (標準)
	オフ	< 0.5W (スタンバイ)

<sup>1</sup> ViewSonic®製または認定されたメーカー製の電源アダプタのみをご使用してください。

<sup>2</sup> 試験条件はEEL標準に従ったものです。

# プロジェクターの寸法

309 mm (幅) x 115 mm (高さ) x 234 mm (奥行)



# タイミングチャート

## HDMI PC

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)
VGA	640 x 480	60/67/72/75
SVGA	800 x 600	56/60/72/75
XGA	1024 x 768	60/70/75
	1152 x 864	75
WXGA	1280 x 800	60
クアッド-VGA	1280 x 960	60
SXGA	1280 x 1024	60/75
WXGA+	1440 x 900	60
UXGA	1600 x 1200	60
WSXGA+	1680 x 1050	60
MAC 16"	832 x 624	75
MAC 21"	1152 x 870	75
フルHD	1920 x 1080	60
WUXGA	1920 x 1200 <sup>3</sup>	60

## HDMIビデオ

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)
HDTV(1080p)	1920 x 1080	50/60
HDTV(1080i)	1920 x 1080	50/60
HDTV(720p)	1280 x 720	50/60
SDTV(480p)	720 X 480	60
SDTV(576p)	720 x 576	50
SDTV(480i)	720 X 480	60
SDTV(576i)	720 x 576	50

<sup>3</sup> 1920 x 1200@60HzはRB (Reduced Blanking) のみをサポートします。

## HDMI 3D

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)
Frame Packing (レームパッキング)		
1080p	1920 x 1080	24
720p	1280 x 720	50/60
Side by Side (サイド・バイ・サイド)		
1080i	1920 x 1080	50/60
Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)		
1080p	1920 x 1080	24
720p	1280 x 720	50/60

### 注記:

- 1080i@25Hzおよび720p@50Hzは100 Hzで実行されます。他の3Dタイミングは120 Hzで実行されます。
- 1080P@24Hzは144Hz (XGA、WXGA、1080p) /96Hz (WUXGA) で動作します。
- 入力フレームレートが48Hz以上の場合、出力フレームレートは入力フレームレートの2倍に設定されます (FRC = 2xモード)。
- 3D入力フレームレートが25Hz以上の場合、出力フレームレートは入力フレームレートの4倍に設定されます (FRC = 4xモード)。
- 3D入力フレームレートが24Hz (23.9Hzを含む) の場合、出力フレームレートは入力フレームレートの6倍に設定されます (FRC = 6xモード)。

# トラブルシューティング

本章では、プロジェクターを使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
プロジェクターの電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>電源コードがプロジェクターとコンセントに正しく接続されていることを確認してください。</li><li>冷却プロセスが完了していない場合は、終了するまで待ってからもう一度プロジェクターの電源を入れてください。</li><li>上記の方法でうまくいかない場合は、別のコンセントまたは同じコンセントで別の電気機器を試してください。</li></ul>
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>ビデオソースケーブルが正しく接続され、ビデオソースがオンになっていることを確認してください。</li><li>入力ソースが自動的に選択されていない場合は、プロジェクターまたはリモコンの「Source Input (ソース入力)」で正しいソースを選択してください。</li></ul>
画像がぼやけている	<ul style="list-style-type: none"><li>フォーカスリングを使ってフォーカスを調整すると、プロジェクタレンズのフォーカスを正確に合わせることができます。</li><li>プロジェクターとスクリーンが正しく整列していることを確認してください。必要に応じて、プロジェクターの高さ、および投影角度と方向を調整してください。</li></ul>
画像が逆になっている	<ul style="list-style-type: none"><li>OSDメニューを開き、<b>Setup (セットアップ) &gt; Projection (投影)</b>に移動し、投影オプションを調整してください。</li></ul>
16:9のDVDを投影すると映像が引き伸ばされる	<ul style="list-style-type: none"><li>アナモルフィックDVDまたは16:9のDVDを再生すると、プロジェクターは16:9で最高の画像を表示します。</li><li>4:3形式のDVDタイトルを再生する場合は、プロジェクターOSDメニューの形式トを4:3に変更してください。</li><li>DVDプレーヤーのディスプレイ形式を16:9 (ワイド) アスペクト比としてセットアップしてください。</li></ul>



問題	解決策
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• リモコンとプロジェクターの間に障害物がないことを確認してください。そしてそれらが以下の範囲内にあることを確認してください：</li> <li>• 電池が切れている可能性があります。確認して、必要に応じて交換してください。</li> </ul>
プロジェクターが、すべての制御に応答しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プロジェクターをオフにし、電源コードを抜いてください。少なくとも20秒待ってから、再接続して再試行してください。</li> </ul>

## LEDインジケーター

警告インジケーター（以下を参照）が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。プロジェクターから電源コードを抜いて、30秒間待って、もう一度やり直してください。警告インジケーターが点灯または点滅する場合は、ViewSonic® カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

ステータスと説明	電源インジケーターライト		温度インジケーターライト	光源インジケーターライト
	赤	青	赤	赤
スタンバイ状態 (電源コード入力)	点灯			
電源オン (ウォーミング中)		点滅 (0.5秒オフ/ 0.5秒オン)		
電源オンとランプ照明		点灯		
電源オフ (冷却中)		点滅 (0.5秒オフ/ 0.5秒オン) 冷却ファンがオフになったら、赤いライトが点灯します。		
エラー (ランプ故障)	点滅			点灯
エラー (ファン故障)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	

# メンテナンス

## お手入れの際の注意

- プロジェクターのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- プロジェクターから部品を取り外さないでください。プロジェクターの部品を交換する必要がある場合は、ViewSonic®または販売店にお問い合わせください。
- 絶対にケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- プロジェクターは十分注意してお取扱ってください。傷がついた場合、跡が残る可能性があります。

## レンズを清掃する

- ほこりを取り除くために圧縮空気のキャニスターを使用してください。
- それでもレンズが汚れている場合は、レンズクリーニングペーパーを使用するか、レンズクリーナーで柔らかい布を湿らせて、表面をやさしく拭いてください。

**注意：**レンズを研磨剤でこすらないでください。

## ケースのお手入れ

- 柔らかい、糸くずの出ない乾いた布で汚れやほこりを取り除いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量ケースにつけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

**注意：**ワックス、アルコール、ベンゼン、シンナー、その他の化学洗剤を絶対に使用しないでください。

## プロジェクターを保管する

プロジェクターを長期間保管する場合は、次の手順を実行してください。

- 保管場所の温度と湿度が推奨範囲内であることを確認してください。
- アジャスターフットを完全に引き込みます。
- リモコンから電池を取り出します。
- プロジェクターを、元の梱包材または同等の梱包材で梱包してください。

## 免責事項

- ViewSonic®は、レンズまたはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗浄剤は、プロジェクターのレンズおよび/またはケースを損傷することが報告されています。
- ViewSonic®は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

# 規制および保証情報

## コンプライアンス情報

ここでは、関連する要件や規制に関する声明について説明します。正確な用途は、ネームプレートのラベルおよび本体に表記されるマーク等をご確認ください。

### FCC 準拠宣言

本製品は、FCC 規定の第 15 条に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規定されます。(1) 電波障害を起こさないこと (2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、クラス B デジタル機器の制限に従っています。

これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本装置は高周波エネルギーを生成および使用し、また放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しない場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしてください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える。
- このデバイスと受信装置の距離をあける。
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する。
- ディーラーか経験のあるラジオ/TV 技術者に問い合わせる。

**警告：**コンプライアンスに責任を持つ団体が認めない改造や変更を行うと、本機を操作する権利が失効します。

### カナダ産業省の声明

CAN ICES-003(B) / NMB-003(B)

### ヨーロッパ諸国における CE 準拠



本機は EMC 指令 2014/30/EU および低電圧指令 2014/35/EU に準拠します。エコデザイン指令 2009/125/EC。

以下は、ヨーロッパ連合加盟国のための情報です。

右に示すマークは、WEEE 指令 2012/19/EU に準拠していることを意味します。マークは本機を無分別ゴミとして処理するのではなく、お住まい地域の条例に基づいて廃棄する必要があります。



## RoHS2 準拠宣言

本機は、電気電子機器 (RoHS2 指令) における特定の有害物質の使用に関する制限にかかる欧州議会・理事会指令 2011/65/EU に準拠して設計、製造されており、以下に示すとおり欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する最大濃縮率に準拠しています。

物質	最高濃度案	実際の濃度
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
六価クロム (Cr6+)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジエチルヘキシル (DEHP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ベンジルブチル (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

前述の一部の製品部品は、下記のとおり RoHS2 指令の付録 III から除外されます。

- 特定用途における冷陰極蛍光管および外部電極蛍光管 (CCFL および EEFL) に含まれる下記の量を超えない水銀 (ランプ 1 個あたり) :
  - » 最短 (500 mm) : ランプあたり最大 3.5 mg。
  - » 中 (> 500 mm および 1,500 mm) : ランプあたり最大 5 mg。
  - » 最長 (1,500 mm) : ランプあたり最大 13 mg。
- 陰極線管のガラス内に含まれる鉛。
- 蛍光管のガラス内に含まれる鉛が重量の 0.2% を超えないこと。
- アルミニウムに含まれる合金元素としての鉛が重量の 0.4% を超えないこと。
- 銅合金に含まれる銅が重量の 4% を超えないこと。
- 高融点タイプのはんだに含まれる銅 (重量の 85% 以上が銅の銅ベースの合金など)。
- 圧電性機器など、蓄電器の誘電体磁器以外のガラスまたは磁器に含まれる鉛を含む電気および電子部品、またはガラスや磁器マトリックス混合物。

## **インドの有害物質に関する制限**

有害物質に関する制限宣言（インド）本製品は「India E-waste Rule 2011」に準拠しており、同規則の別表 2 に記載する例外を除き、重量の 0.1% を超える量の鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル、重量の 0.01% を超える量のカドミウムの使用を禁止しています。

## **廃棄処分について**

ViewSonic® は環境保護を重視し、人々がエコな環境で働き、生活できることに最善を尽くします。よりスマートな、より環境に優しいコンピューティングへのご協力に感謝します。詳細は、ViewSonic® ホームページをご覧ください。

## **米国およびカナダ：**

<https://www.viewsonic.com/us/go-green-with-viewsonic>

## **ヨーロッパ：**

<https://www.viewsonic.com/eu/go-green-with-viewsonic>

## 著作権情報

Copyright© ViewSonic® Corporation、2023。All rights reserved。

Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国およびその他の国における Microsoft 社の登録商標です。

ViewSonic® および 3 羽のトリのロゴは、ViewSonic® 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。DPMS および DDC は VESA の商標です。

**おことわり：**ViewSonic® Corporation は、本書の技術的または編集的ミスについて、また記載されないことについていかなる責任も負いません。さらに、本製品を使用した結果生じたあらゆる偶発的、結果的損害について、本製品の性能または使用に関しても一切責任を負いません。

今後も製品の向上を図るために、ViewSonic® Corporation は予告なく製品仕様を変更する権利を有しています。本書の内容は、将来予告なく変更される場合があります。

本書の一部または全部を ViewSonic® 社の文書による許可なく複製、再生、転送することはいかなる方法においても固く禁止します。

## カスタマーサポート

技術サポート、製品サービスおよび保証範囲については、  
下記ウェブサイトをご覧ください。

ViewSonic International ヘルプページ

製品サポート、修理、その他お問い合わせについては、  
カスタマーサポートセンターにご連絡ください。

電話番号：050-5810-1535、平日：9時～18時

**注意事項：**製品のシリアル番号が必要です。





**ViewSonic®**  
*See the difference®*